京城日報

八日夕刊

定價 紙代 一部金二錢五厘 一ヶ月金五拾五錢（郵税京城外別）三ヶ月金壹圓 六ヶ月金 一ヶ年金 郵税代用二割増
廣告料 ▲五號活字一行金七拾錢 ▲欄内一行金 ▲三號活字 ▲定行一行は二號活字 一行は五號活字の
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
電話番號 編輯局 營業局 振替貯金口座 京城

◎準備全部完成
親任式御舉行は九日か

政黨との提携思はしからざるのみならず寺内伯の豫定せる閣員入閣辭退者續出の結果一時行惱みの噂さへ生じたる寺内内閣の組織も後藤男等最後の努力に依り七日夜に至り愈々組織の準備全部完成するに至りたれば寺内伯は多分八日中に參内正式に内閣組織の恩命に對する奉答を爲す可し親任式は各政黨との交渉其他尚取運ばざる可からざる要務あれば到底八日中には覺束なかる可く寺内伯は九日午前十時より十二時に至る間に於て親任式御舉行の奏請を爲す筈なるも宮中の御都合もある事なれば或は多少の遲延は免れざる可し（東京特電）

◎希臘の中立拋棄
現内閣辭職の聽許

雅典來電―希臘内閣員の多數が中立拋棄に贊成せる爲めコンスタンチン王は遂にカロゲロプロス内閣の辭職を聽許せりされど國王は希臘が何等かの行動を執るに先ち其軍隊の再編成を行はざる可からざる事を信じ居れり（倫敦電報）

◎ブロツゾウ方面の激戰

露國公報に曰く「ブローディーの南方二十哩ブロツゾウ方面に於て激戰進行中なり敵は頑強に抵抗し居れるが我軍は同地に於て捕虜五百五十名を得たり我軍はブルゼザニー南方地方に於ける敵の陣地數箇所を占領し次で獨土兩軍が繰返して行へる逆襲を擊退せり（紐育電報）

◎川村元帥動靜

七日夕刻來元せる川村元帥は八日午前九時四十五分發汽車にて京城へ向へり（元山特電）

◎芳澤參事官赴任

新任北京公使館附參事官芳澤謙吉氏八日門司發商船湖南丸にて赴任せり（門司特電）

◎ラジユーム鑛の調査
中央試驗所の計畫

中央試驗所にては從來朝鮮の鑛産品か重石、金等の如き貴金屬の生産豐富にして外國にても此種の貴金屬鑛を産出する地方にはラジユームの生産あるを常とし現に壤太利の如きは花崗岩の山層にて前記の貴金屬を有し世界第一のラジユーム産地として知らるゝの實例に鑑み朝鮮にても必ずラヂユウム鑛の存在尠からざるべしとなし試驗所の今津技師之が調査に著手し今御巡行中なるが今回の調査一先づ終了せば追て全鮮のラヂユームを調査する方針を立て來月上旬より京城以南温泉所在地の温泉藥水等のラジユーム含有量を試驗することゝなりたり右につき

▲今津技師の談 によれば從來朝鮮人は岩間より流出する水を藥水と稱し之を飲用し來りたるが試驗の結果ラジユーム含有水なることを發見されてより世人の注意を惹起し引續き當試驗所に水質試驗を依賴し來るもの頗る多きを加へ來りたり殊に鮮人がラジユームの發見以前に於て既に之を醫療用に供し居たるは稱すべき事にして其醫療上の効果は痛風、中風、糖尿病、リウマチス等に用ゐて特効あるものなり京城内にても李王殿下の飲料水たる三清洞の藥水は七マツへのラジユームを含有し居たるが今回惡疫流行のため運搬の途中に危險ありとして一時之を中止し更に昌德宮内にて適當の藥水を得んと踏査したる所玉流川附近の岩間より流出する藥水には三三マツへのラジユームを含有せることを發見せり尚此外尹德榮、尹澤榮、李秉武等各貴族の邸内にある井水よりも多量のラジユームを含有し居ることを調査し得たり現在の如く或一部の試驗を行ひたるのみなるに既に斯の如しとすれば全鮮に亙り鮮細なる調査を行はゞ意外の發見をなさんも知れず今回京都出張よりの歸途南鮮方面に於ける温泉及び藥水の試驗を行ふことゝなり居れり金剛山の如きも尚更ラヂユーム鑛の潛在せる見込なれば北方面に向つても相當の時期に調査を試むる筈なり

◎煙草作柄豫想

本年の煙草作に就き當局の所見を聞くに全鮮を通じ多雨の爲め日射の不足を來し從て良葉を得る能はず唯僅に北鮮元山咸興方面は氣候適順の爲め三割方の增收を見るべしとの報告來れるも同方面は煙草の主産地に非ず、最も産額多き江原道寧越地方は品質半作の悲境にあり又南鮮方面は品質並に數量より見て概して二三割の減收見當に付全鮮を通じ平年の八分作と觀測せざる可からざるべく結局總産額四百萬貫を切れ支那葉の輸入少なからざるべしと

◎日本ホテル業者大會

第八回日本ホテル業者大會は八日午前十時より朝鮮ホテルに開會内地朝鮮滿洲の同業者十八名列席外容諮致策其他各ホテルよりの提出案に就て協議を凝し午後三時頃散會したるが朝鮮鐵道局よりは安藤參事列席せり同會議は八月一日にて終了九日は一同市中の觀光をなすべしと

▲鐵道局の招待 鐵道局にては日本ホテル業者大會に列席の爲め入京中なる各ホテル主任及び代理者を九日午後六時半より朝鮮ホテルに招待し晩餐會を催すべしと

◎秋山中將歸期

鮮各部隊を巡察し尋で羅南旅團の秋期機動演習を觀戰せし秋山軍司令官は安藤高級參謀、野津副官の一行は來る十一日午後龍山著列車にて歸任の豫定なりと

◎立花師團長觀戰

立花師團長は七日午前二時五十三分沙里院著列車にて演習狀況視察の爲め來沙せり驛構内には鳳山郡守在郷軍人歡迎會員等の出迎あり師團長は同地岩本旅館に投宿せり

◎秋山視學官危篤

總督府視學官秋山鐵太郎氏は八月三十日京畿道江原道方面の學事視察として出張せしが其歸途不幸にして赤痢に罹り九月二十日利川より水原に到り同地の慈惠醫院に立寄り診斷を受けたる處症狀容易ならず遂に其儘同院に入院し專ら療養中なりしが爾來容體徐々險惡に陷りしより六日には宇佐美内務部長官特に同地に出張して病床を見舞ひたるが七日夜に到り危篤の病狀を呈したる旨京城の關係者に通知ありたるを以て弓削課長森安博士等は直ちに八日午前四時四十分南大門發にて水原に急行したるが到底回復の見込なしと決定したるより同日午後二時二十五分南大門著にて看護の人々附添ひの上需昌洞の官舍に引取りたり

◎警務部長見學

黃海道警務部長は演習見學の爲め五日來沙里院附近の演習地を視察し同午後七時十八分列車にて馬洞に下車せり黃海道にも目下虎疫發生の爲非常に多忙を極めつゝあり

◎趙長官訪問

黃海道長官趙羲聞氏は七日正午沙里院に來り立花師團長及び演習統監市川旅團長を訪問せり

◎小倉警部轉任

平安南道警務部衛生係勤務警部小倉泰治氏は今回警務總監部衛生課勤務を命ぜられ七日赴任せり

◎津村支店長出京

朝鮮銀行平壤支店長津村甚之助氏は行務を帶び京城に向ひたるが滯在期日は約五日間位なるべしと

◎仁川新籾入津

新玄米の出廻は此數日間に精米用として引取らる者漸次數を增し六日の如きは沙里院、定州、郭山、鳥致院、烏山、水原より二百五十石餘あり而して新籾は帆船便にて忠淸道唐津より三百俵其他小口物の入津を見るに至り續々新物市場に現はれつゝあり

◎瓦斯會社と陳情

仁川瓦斯株式會社は曩に奧田、白神、和田諸氏の發起に依つて夙に總督府に設立認可の申請をなしたるも未だ何等の回答無きを以て前記三氏は九日上京當局者訪問の上仁川今日の現狀として動力の需要日一日と熾んになり隨つて今日の如き高價の供給を受くるは各種工業家の苦痛に堪へざる處なれば工業熱促進必要の折柄一日も早く設立認可ある可き樣陳情すべしと

西鮮行寸信
三日夜金山浦にて 日新生

▲兎角して金山浦に著きしは五時の交なりしが未だ日の高きを幸ひ尻の痛みを忍むで直ちに鐵山を見物に出掛け申候 ▲殷栗鐵山は殷栗長連の二大鑛區に別れ河を挾むで相對峙致し居候 ▲長連の山は一二號區とも作業水平線下に進み候爲め水車や揚水機を備へて排水採掘致し居候が殷栗の山は二三號區とも今が出盛りにて二號區の如きは今日までに十萬噸以上を採掘致し候由に御座候 ▲此處も尚採鑛中に候へば鑛區内の總鑛量は不明なるも今日の狀況より推せば少くとも一千萬噸を下らざるものゝ如く昨年の搬出命令高は六萬噸に候ひしが今年は七萬噸の由にて所員一同奮勉致し居候當山の經營は誠に理想的にて或は學校を設けて附近の子弟を敎養し或は雜種製造所を建て一般農民の副業を獎勵する等地方の開發に貢獻する處鮮少ならず候が就中特筆す可きは堀り取れる土砂を利用して山下の干潟地に數個の大堤塘を築き之れに排水引水の閘門を設けて三百町步の畓を得むとする計畫に候が工事着々進捗して現下既に其の八分方を竣へ居り候 ▲今夜は所長富田泰三氏の厚意にて此處に一泊と決し導かれて事務所上の迎賓閣に入り候純日本式の建物内に寢るは沙里院以來七日目に御座候

四日午後鎭南浦にて

▲四日は朝富田氏の植林地、開墾工事等を視察し十時鐵山專用の腕車を驅つて長連に向ひ申候 ▲沿道の民家は昨今粟黍などの收穫に忙しく此方にも彼方にも臼を廻はす牛を見受け候稻刈は尙ほ三四日の後なる可きが本道内は到る處豐作の歌を聞き申候 ▲長連は戶數五百其の九分通りは農民にて左したる商業地でもなければ物資の集散地にも候はねど鎭南浦に近き地の利を占めて警察署あり又日本人小學校あり但し日本人は十六戶に過ぎざることとて學校組合の負擔は却々輕からざる樣に候 ▲此處では警察署に署長を訪ひ閑談時餘にして更に腕車を今卜渡に馳せらし午後三時鎭南浦汽船合資會社の石油發動汽船に搭乘仕り候 ▲今日は海上風荒れて浪高く船首には絕えず白馬を躍らせ乘客中には一二へタバリかけしもの候ひしも先づ無事にて五時鎭南浦に上陸仕り候

釜山

▲電氣協會總會 來る十五日朝鮮電氣協會第三回の定期總會釜山に於て開會する豫定なるが全鮮に於ける電氣會社十五社を始め其他各電氣業者を以て組織せる會員來會する事となれば會場は瓦電社東萊温泉場の新築浴場を以て開會せんと同所工事を急ぎつゝあり ▲釜山船渠工事 豫て大池、西條の兩氏の經營によれる船渠は其後埋築工事等進捗しつゝありしが愈々建設に取かゝるを以て其事務所を大池本店西隣の家屋を以て之れに充つる事となれり ▲九月中の總揚高 不況の中にも釜山綠町九月中の總揚高は一萬三千三百十圓登樓の客は四千五百十三名なるが其内にも延代金の算盤高の重なるものは梅歌の千二百八十八圓と延客は二百十二名日韓樓一千〇七十圓と二百三十名安樂亭八百四十五圓と二百一名の三樓の外に朝日亭が七百八十二圓田中屋五百七十五圓位なるが其他の三十四軒にて八千七百五十五圓を割當つれば一軒宛に平均二百五十七圓五十錢なるが中には木の根亭の百圓と云ふ小額もあれば延のたれ處に上下のあるものと云ふべし ▲東亞貿易研究會 釜山東亞貿易研究會の例會を十日商工俱樂部に於て開會する筈なるが當日研究材料としては過日浦鹽方面視察したる石原源三郎、許斐友次郎、山崎貞三氏等の今後に於ける對露貿易に關する意見ある筈 ▲日本觀察團通過 支那敎育會にて組織せる日本内地觀察團一行廿四名は七日午後七時釜山著直に連絡船新羅丸にて東京に向へり

尙州

▲尙州小學校運動會 慶北尙州小學校にては七日守備隊營庭に於て秋季陸上大運動會を開く盛會を極む ▲尙州本願寺新築 慶北尙州本願寺にては寺院新築の計畫著々進捗し大岸氏其他有志熱心奔走の結果本月末迄に棟上を了すべしと ▲自働車試運轉 慶北金泉尙州間總居自働車部には今回自働車新調せしを以て田上金泉分隊長、賴村尙州分隊長、長川島尙州支廳判事松浦郡書記同乘六日開廳まで試運轉せり

大田

▲大田在庫品 漢湖農工銀行倉庫其他倉庫の在庫品は玄米一千八百二十七叺大豆百九十三叺雜穀三百十六叺牛皮六千三百斤葉煙草二百十八貫輸入品中綿絲七十五梱綿布類三十三疋計二萬四千六百二十八圓なりと ▲鎌入後減收 南鮮各地共降雨被害の爲め不作なるべしと豫想せられ湖南沿線殊に錦江萬頃江流域の如き半作なるべしと風評せられ居たるに天候回復と稻の若かりし爲め補植直播等應急手段を取りたる爲め一時見直し開花當時の如き奥地まで植付け出來たる爲め大豐年なりと傳へられしに開花期に至り降雨續きたると結實期に急激の冷氣加はりしとにより成熟期に入りシラタ比較的多く穗丈け短かく分蘖少なかりし等に依り鎌入後減收を見るに至らずやと一般に傳へ居れり

論山

▲地主會決議 論山地主會評議員會にては本年度施肥の普及に勉むる目的を以て良種の採種田に付各地主より直接申告せしめ籾の調製擴を地主にて設備し稗拔穗選實行に付ては道立農業學校卒業生二名を臨時指導員として雇入れ稗拔穗選不實行者に對しては其程度に依り一斗落に付罰籾五升以下を課し驅除には若干金を郡廳に寄附し郡守は最善の方法にて捕殺者幷に穗撰籾調製優良里洞に農旗三旒を授與する事及び地主負擔金九十一圓餘の醵出等を決議せりと ▲酒造總會 朝鮮酒造株式會社にては曩に總會を催し重役二三の交迭と共に中村支配人辭職し爾三日中に出發の筈にて後任として荻野金男氏就任せり ▲賜金交付 本年七月以來の降雨水害に關し御救恤の思召を以て御下賜金あり九月二十日各面長被害者を郡廳に召集し郡主吏員立會交付したるが其數は死亡二住家流失十二軒全潰三十七軒半潰七十軒にて金額八十八圓二十四錢なりし ▲道路補修 論山を中心として各地に向ふ道路は水害の爲橋梁流失或は決潰せしが郡土木にて補修に努めし結果全州道路一部を除き竣成せり ▲地金取扱 漢湖農工銀行論山支店にて九月中取扱たる地金は金額三千五百餘圓にて前月に比し約一千圓減じ居れり從來同地方地金多き時は七千圓餘を出したるも七月以來降雨の爲め被害ありしのみならず近來農繁期に入りたるを以て人夫減少せる等の原因なりと因に九月中に於ける買讀は二千餘圓ありし由也

群山

▲客月貿易 群山稅關支署調査に係る群山港九月中貿易狀況を聞くに輸移出貿易に於て米二萬八千零二十二圓牛皮二萬三千五百零八圓を重なるものとし輸移出額總計金五萬八千九百七十五圓なりし ▲課稅變更 群山稅關支署に於ては左の如く輸移出有稅品課稅價格を變更し十六日より實施すべし大豆上一石六圓五十五錢下六圓三十六錢小豆一石上七圓二十二錢下七圓零三錢小麥一石上六圓七十五錢下六圓四十六錢荏胡麻子百斤並五圓九十八錢牛皮百斤並六十五圓等也 ▲褒狀授與式 全北沃溝郡廳に於ては來る十五日午後一時より第一回棉作立毛品評會褒狀授與式を舉行すべし

光州

▲棉花相場高騰 一日道廳に入電したる大阪ミッドリング相場は百斤五十圓十錢の高値を唱へ居れるが昨年十月一日入電は卅九圓六十錢一昨年は卅五圓七十錢にて之と對照し頗る暴騰せるが爲多少の不作は價格に於て償ひ得べしと棉作者は漸く愁眉を開け居り尙共同販賣は十月六日より開始の筈にて本道公定相場は一等棉がミッドリング相場の九割五分を以てすべしと ▲本道の初霜 五日朝本年本道に於ける初霜ありたるが極薄かりし爲め棉花稻作其他一般農作物にも左したる被害は無かりし之を例年に比するに約十日間早しと ▲判任見習試驗 本道に於ける判任見習試驗は八日より執行の筈にて七日慈惠醫院に於て身體檢査を行ふ筈受驗者は總數四十名に及べり ▲魚類取引拒絕 京城龍山方面より木浦水產會社に對し南沿海にて漁獲したる漁介類は危險なりとの理由に依り輸送を拒絕し來りたると同時に內線の需用激減したる爲め魚價は約三四割方下落せり ▲天長祝日園遊會 宮木長官は來る天長節祝日光州重なる官民二百五十名を招待し祝賀園遊會開催の爲め準備委員長以下を指名目下之が準備を爲さしめつゝあり ▲捕鯨根據地認可 日韓捕鯨會社より務安郡大黑山島へ捕鯨根據地を設置の件は三日附を以て認可されたるより直ちに同會社は其準備に著手すべしと ▲祝日奉祝協議會 光州官民は近く會議を開き天長節祝日の奉祝準備方を協議すべしと

人事

▲森安博士 八日午前水原へ
▲ホテル協會員十三名 七日夜内地より入京朝鮮ホテルへ
▲宮木政太郎氏（神戸鈴木商店員） 九日朝入京浦尾旅館へ投宿の筈
▲本多近造氏（神戸鐵砂商） 同上
▲橋本寛太郎氏（木浦府尹） 入京中の處八日朝退京
▲林愛作氏（東京帝國ホテル支配人） 七日夜入京朝鮮ホテルへ
▲生野團六氏（ジャパンツーリストビユーロー幹事） 同上
▲荒木三郎氏（鐵道院西部管理局參事） 同上
▲金谷＝生氏（日光金谷ホテル支配人） 同上
▲山口爺一郎氏（箱根富士屋ホテル支配人）同上
▲松田濟四郎氏（輕井澤ホテル） 同上
▲澤野富三郎氏（東京精養軒） 同上
▲濱田精氏（旅順ヤマトホテル支配人） 同上
▲濱口宗介氏（京都ホテル支配人） 同上
▲坂巻正太郎氏（レーキサイドホテル） 同上
▲井上武夫氏（京都ホテル支配人） 同上
▲新井秀夫氏（日光ホテル員） 同上
▲鈴木伊三郎氏（山陽ホテル支配人） 同上
▲中村伊津吉氏（奈良ホテル支配人） 同上
▲デビス氏（英商人）▲ワアガア―氏夫妻（英人）▲ジョーン■氏（米人）パーヘイエン（白人）同上

正則英語學校主々 齋藤秀三郎先生著

熟語本位 英和中辭典

▲眞正に日本人を本位とした最初の獨創的英和辭書▲曖昧朦朧の暗中に物を探るが如き直譯的辭書と同日の談に非ず▲日本人をして自由自在に英語を讀み書き話さしむるの道は初めて本書に依て完

全に揭示せられたり▲譯語の一切適帝親切巧妙平易流暢にして一讀人の心魂に徹せしむるものあり▲單語の厚義、轉

▲比喩的意義を系統的に列せる▲他語との結合より生

示せる特殊の意義は遺漏なく例示せる▲動詞形容詞と前置詞

其他との關係を一々親切に說明せる▲前置詞に於て特に著

著者獨得の造語を發揮せり▲熟語用例の多數にして變化に富み措辭の巧妙なる▲最新科學的方法に依りて發音を明にせる▲本書は現代の最高最新最美の大作たり

定價金貳圓五拾錢 送料市内四錢地方二十錢鮮支臺四十錢

發賣所 東京市京橋區南傳馬町一丁目一番地 電話本局二七四九番 振替貯金東京二三三五七番 [illegible]分店

西朝鮮機動演習觀戰記

八日午前一時沙里院にて 三好特派員發

▲八日 西軍攻擊に轉ぜんとす

七日沙里院方面から海州支隊と相呼應して追擊を續け遂ひに同夕刻に至り敵を沈村方面に擊退したる東軍は新基の高地を占領して一時追擊を停止して茲に西軍と相對時、翌日早朝を待つて

■再び攻擊を開始す る事となつたが七日午後に至つて本隊司令官から左の情報を受けた

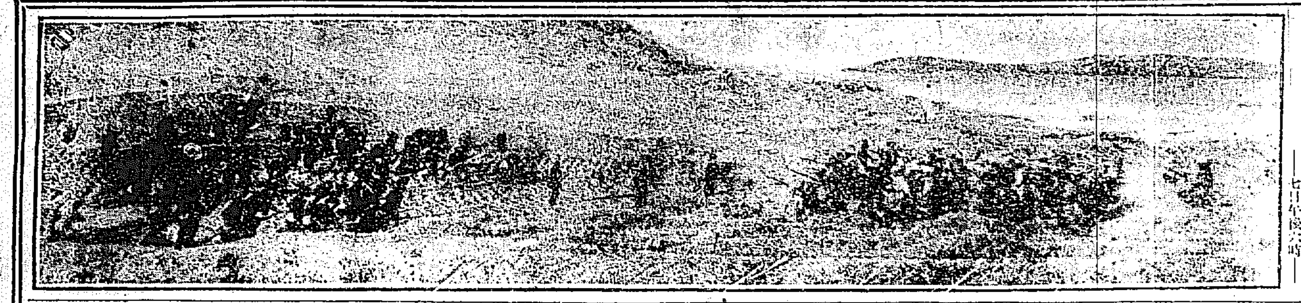
安岳支隊は七日早朝敵の攻擊を受け交戰約六時間新換浦(載寧西北約七里)を經て退却し日上龍岩(新換浦西北高地)一帶の高地を占領せり該支隊は七日夕刻該陣地に到着すべき增援隊の來着を待つて明八日拂曉を期し攻勢に轉ぜんとす

更に亦沈村附近にある西軍も七日夕刻左の情報を本隊司令部から受取た

海州支隊は豫定の如く今七日拂曉以來昌儉大奇村に亙る敵陣地を攻擊し交戰約六時の後敵陣地を奪取せり敵は多大の損害を受け新換浦方面に退却せり牒報によれば該支隊前面の敵は增援隊を得たるものゝ如く目下龍岩(新換浦西北高地)一帶を占領せり

東西兩軍は卽ち此の牒報よつて八日早朝より起すべき

■戰鬪動作の策畧を 廻らさんとするのである、八日の戰鬪は多分友軍なる安岳支隊(假想)の稍有利となれるを觀て西軍は今日までの隊形を變じ遙かに攻擊に轉ずべく東軍の退却となつて再び沙里院附近に於いて大衝突があるだらふと思はれる七日の支隊長は中村荒井の兩中佐であつたが八日は聯隊の主腦たる野島七十八聯隊長が東軍支隊長となり池內第七十七聯隊が西軍支隊長となつて愈々興味ある戰略が廻らされる事であらうと思はれる(七日午後十時記)



沙里院北方高地に於ける衝突 ―七日午後六時―

▲卅餘時間の不眠不休 立花將軍曰く『兵は……よく動くのう』

七日の戰鬪演習は午前二時より開始された東軍たる中村支隊の夜襲に始まり八八高地に於ける追擊戰、沙里院驛前面及び生山の交戰に次で沙里院西北方沈村附近に西軍なる荒井支隊を擊退するまで

▼戰鬪十數時間 に亙り、兩軍とも午前二時から夕刻まで些の休養を與へられず、各七八里の道を步き通しであつた、夕刻からは翌日の活動を期すべく、追擊部隊なる東軍は沙里院沈村の中間なる新基附近、西軍は沈村附近の谷露營地に於いて十分の休養を與へられたが、是までに於いて各隊の兵は全く疲れ切つてゐたのである、それは六日早朝から對抗演習を續け全く睡つたのが午後の十一時、それから各個炊爨にかゝつて翌日の朝營食を作り一時頃にやつと眠りに就くと

▼夜襲騷ぎで 兩軍とも二時から起されて五時から西軍が退却する東軍が追擊するといふので戰鬪狀態に入り遂ひに全く三十餘時間所謂戰備强行軍でその間殆んど不眠不休で飛び廻つたのである、言ふ勿れ、之れが單なる對抗演習に過ぎずと、却つて實戰となれば側面よりの敵の襲來に不幸生命を奪はれる事もあるが、それ丈前進等にも警戒されて無暗な前進をしないので樂であるが、演習となると支隊長の命のまゝにドシ〳〵行動するので

▼兵の疲勞も甚 だしいものがあるさうだ、然かしながら此の場合にあつては單り兵而已では無い、統裁官たる上長官を始め將校下士官皆同じなのである、六日より七日に亙る兩日に於ても市川旅團長以下全員悉く疲勞せざるは無い有樣であつたがそれでも參加部隊の各兵科共各々の任務を克く竭し神速に活潑に亦勇敢に行動しつゝある事は誰の目にも映つたのであつたが、絕えず兩軍の動作を視察しつゝあつた

▼立花師團長の 口からも『兵が寢て居らんにしちやあ能く動くのう』こ言ふ樣な言葉が屢々發せられて頗る愉快らしく見ゐたのであつた、然かしながら兵士各個に就いて聞いて見ると何れも言合せたやうに樂では無いといふ、若い將校などでも前進中に眼が自然に塞がつてフラ〳〵と倒れさうになるがそれでも堪へ〳〵て屈しない心がけは

平素の訓練こ は言ひ條よく鍛へたものだと思ふ、立花師團長は七日午後三時頃に沙里院の旅宿に引上げられ翌八日は更に午前六時から、大森參謀副官、山崎參謀の兩名を隨がへ黃州街道を東軍の露營してゐる新基方面に向ひ、その附近に在る統監部と共に同日沈村附近に實現される東西兩支隊全力の戰況を觀る筈である(八日午前一時)

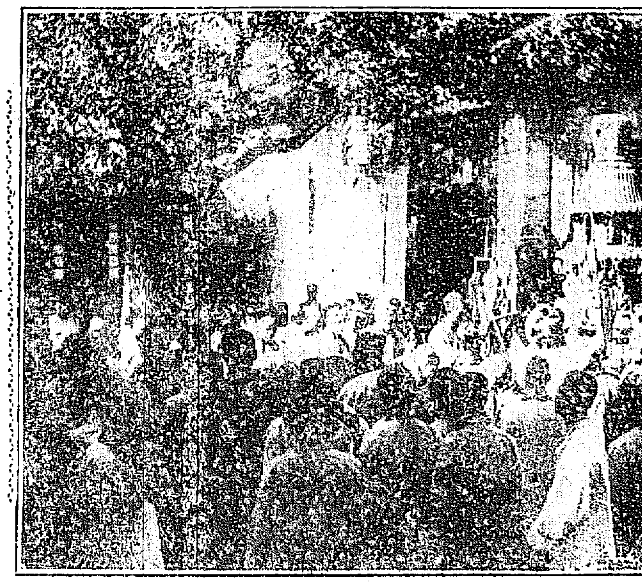
▲六日の戰鬪 ―平壤支局發―

[illegible]報の如く黃海道中央平野に於ける第一師團旅團演習は六日午前拂曉より開始せられたるが東西兩軍の指揮官共前方の敵兵を擊攘するの目的を以て運動を起し東軍指令官は午前八時に大部隊を前進せしめ西軍は指令官は已に午前六時

▲前夜の宿營地 なる沙里院を出發し兩軍共に騎兵を遠く前方に放ちて敵狀の偵察に努めつゝありしが午前九時半彼我の騎兵は興水院附近に於て衝突し小銃戰を爲しつゝ退却せり而して東軍の本隊は一個大隊を前衞とし砲兵二個中隊を側衞として運動を起し西軍又一個大隊を前衞として運動を起し午前十一時三十分東軍は興水院の東方約二千米の山上に達し此時西軍は新水站に達せり此に於て東軍は興水院より停車場の西方約一里の間に兵を展開し西軍又

▲興水院の西北 方高地に道路の左右に分れて展開し彼我共に猛烈なる攻擊前進に移れり而して主力は停車場の西北地點に於て衝突し此處に一大肉兵戰の壯觀を呈したるが此時演習統監より休戰の命令ありたれば兩軍の兵士は戰鬪隊形のまゝ畫食を爲し午後二時三十分西軍は沙里院方面に向つて退却し東軍は此が追擊に從事し滿浜馬洞間に於て激戰あり午後六時兩軍は一先戰鬪を休止し東軍は鳳山郡山水面天德里に露營し西軍又同面の高隆洞里亭に露營せり

□支那重陽節の賑ひ 支那にて陰曆九月九日重陽節の賑ひは五月の端午節と共に主なる年中行事の一なるが此日には古來『登高』と高地に登りて災厄を避け菊酒を飲みて長壽を求むる風習あり、北京にては南は天寧寺、陶然亭、龍爪槐、等の、北は土城關、兩黃寺、等の處、遠きは西山の八大寺に赴くあり、又は一般に寺廟の參詣を以て登高に代ふるもあり、或は詩を賦し酒を飲み、或は肉をあぶり餻子を配る等の例あり。寫眞は道教の寺として有名なる白雲觀に於ける當日の群集にして今や道教の僧侶が金經所讀を始むる所、前面の塔の如きものは其下にて紙錢を焚くものなり。



◎大阪の國技館 大阪の國技館は愈々新世界に場所を決定せり(大阪特電)

◎豫防注射十萬人を越ゆ 朝鮮の注射液は反應も効力も强い

總督府醫院傳染病研究所に於ける虎列拉病豫防注射液は最初一晝夜に三千人分宛を製造し居たりしが其の後遂に京城にも侵入するに至りたるより研究所にては數萬の試驗管及び其他多數の器具を購入し一面に於ては男女數名の助手を雇入れ

◆熱心に製造中 なるが漸次助手の熟練と共に目下の處一日に二萬六千人分宛の豫防注射液を製出し得るに至れり最初よりの全製造高は十數萬人分に上り今日迄の實掃高は十萬餘人分にして主に京城市中に於て使用せられ其一部分は仁川に送りたり今後は注文の數に應じ其都度製造する害にて七日大邱から五千人分の

◆注射液を注文 し來れりと田中九主任の談に由れば總督府傳染病豫防注射液は他の注射液に比すれば其反應多少强き傾向あり之れ注射液に用ひたる虎列拉病菌は同一の土地に發生したる患者の菌を用ひたるものにして卽ち京城の人には京城に發生したる患者より採取したる菌を用ひ仁川釜山大邱等皆其の當地に發生したる

◆患者の病菌を 用ひ居るを以て其の風土の同關係なると菌體の有する毒素とが新らしく强烈なるが爲めにして例へば寒天培養器より何回も培養換へを爲したる豫防液の如きは反應極て少きも効果に於て反應强烈なるものは反應少なきものに比

◎大阪醫科大學に百萬圓

大阪戰爭[illegible]株式會社專務取締役[illegible]兒政治氏(三七)は過回の大戰亂の影響にて二百萬圓を儲けたるが內百萬圓を割きて之を大阪醫科大學に寄附し化學研究所を起すこと(大阪特電)

◎十萬人內外の人々が豫防注射を受けたるを見れば內地等の都市に比し京城市民が衞生思想の發達して居る事を證明するに足る可く京城の虎疫も秋冷と共に漸次衰退する傾向にあるも一般に未だ全く安心する の域に達し居らずと してそれ丈け有効果なる理なり兎に角京城市中に於て

◎無料注射開始

京城本町警察署にては本月八日より(每日午前九時より正午迄)管內居住一般希望者に對し左記の日割を以て同署構內に於て虎疫豫防無料注射の求めに應ずべしと

▲十月八日 本町四丁目、櫻井町一、二丁目、黃金町三、四丁目、林町▲九日 花園町、黃金町五、六、七丁目、光熙町一、二丁目、芳山町▲十日 東四軒町、新町、雙林町、大和町全部▲十一日 永樂町二丁目、水標町、笠井町、若草町、黃金町三丁目▲十二日 本町三丁目、旭町一、二丁目、旭町三丁目、本町一、二丁目、明治町一、二丁目、永樂町一丁目、南大門通二丁目▲十三日 旭町一、二丁目、倭城臺町(日出町、武橋町、貞洞、黃金町一丁目、太平通一丁目、黃金町一丁目、三角町、水下町、長橋町、茶屋町▲十五日 北米倉町、太平通二丁目、義州通全部、和泉町、蛤洞、壞井洞、中林洞▲十六日 南米倉町、南大門通三丁目▲十七日 野町、古市町、蓬萊町全部、西界洞

◎雄町ぶ嵐に孕まれて(二) 衞眥いろ〳〵 草紙 船乘になるまで

水夫の働きは實に勇敢であるが併し漫々と寄せ來る波の飛沫を浴びながら死なば船諸共と舵を握つて離れない舵取の沈著さに至つては人の業とは思はれない程である、彼等は暴風雨毎に

ある、が若熱は心頭に熱して背の汗は絕間無く流れる、渴の爲きんとして

▲一斗の水を呑 めば更らに二斗を欲する、此れが爲めに一航海に必ず脚氣を患ふから機關長や火夫長は出來得る限り水を呑ませぬ樣にするが多年の修養の積んで居ない者は背血も絞り出さんとする熾熱に堪へられでさとは知りながらも鯨飲する、火夫は實に火と水の苦悶に喘ぎ乍ら日の光も通らぬ船底下にシヤベルを打振つたり、機關の故障を修繕したり

▲燒さつくるシヤフトに油を注いで居るのである、上甲板に波浪が突賊して船體が傾いても、濃霧が進航の危險な時でも只燒ける樣な熾熱の中に立つてエンヂンの生命力を補給して居るのが彼等の本能であり天分である、事務部は前記二者に比較すると

▲彈丸雨下の間 を馳驅する軍人と文官位の區別がある、從つて苦痛危險の程度は尠くて比較的ボロイ收入があり自由があり融通が利く

◇猪島怪穴の探險 元山每日新聞主催の壯擧 元山每日社主催の下に虎島灣內譜海軍防備隊神の猪島といへる一孤島にある怪穴(俗に地獄穴といふ)の探險をなすべく同社は數日前より探險隊募集中のところ申込者は忽ち豫定以上の數に達し愈々八日午前七時明太丸にて元山を出帆す

▲一命を賭して 風浪と闘ふ

のであるが何此外に甲板上を灼きつける酷熱に堪へ、切るが如き凜然たる寒氣に打克たればならぬのである海國男子の本領を發揮するには斯うした鍛練と修養と刻苦を積まねばならぬこ聞いては如何に血氣に逸る大和男子も逡巡するに違ひない、現に百人中七十人迄は、ものゝ一箇月辛抱が仕切れず船が港に著くを待ちかねて遂電して了ふ相である。

▲水夫に次いで苦しいのは恐らく機關部であらう 絕間ないエンヂンの轟きと、血液を攪亂するが如き震動と、炎々たる焰と、スチームの響きと、マシンの搖音とに滿された、狹苦しい船底に蒸動する、彼等下級船員は、油に泌みて注油をしたり、粉炭に塗れ乍ら分秒の遑無く石炭を補給して居るので

讀者文藝(一等には五十錢の書籍券を呈す)

△俗謠「猫」

○迷ふ子猫に一夜の宿を貸して淋しい秋の宵(一等) 龍山元町二こまや方 岡本小草子

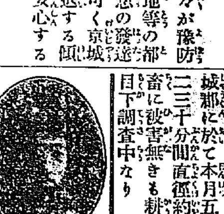
▲猫を被つて勸めてあれど隱した爪が夜啼する 下關 六兵衞

▲二人樂しく世帶の背戶に惜くや小猫が來てお邪魔す 慶北 宮崎戶方

▲猫にや木天蓼泣く子にやお乳お酒よいざめ非戶の水 沙里院 よしの

▲可愛し小猫が鈴鼓の鈴に戲れりや首輪の鈴が鳴る 三河國 關口 晃升

●昌城郡の降雹 平安北道昌城郡に於て本月五日午後三時頃より二三十分間直徑約八分の降雹あり人畜に被害無きも耕作に關する被害は目下調査中なり


御婦人は かならず お讀遊せ

本棒香油 のみ 金牌受領

宮妃殿下宮內省御內儀御用光榮を蒙る 大日本實業博覽會に於て數多き髮油出品の內獨り

髮を黑く長くつやを出し さらく として髮のぬけを防ぎ 艶あかつかざる乖妙也

本舖 大阪 三宅堂

◎荒牧輝鳳獨奏會 八日午後正六時三十分より黃金町二丁目武德館にて荒牧輝鳳氏の獨奏會を催す出演奏曲目次の如し [illegible]

〈演藝案內〉

有樂館 本町一丁目 電話二六六 日本活動寫眞株式會社特約 十月七日より特別大興行

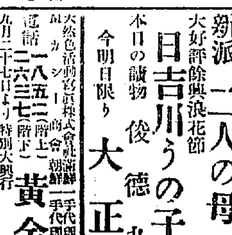
黃金館 電話一八五二(階上) 二六三七(階下)

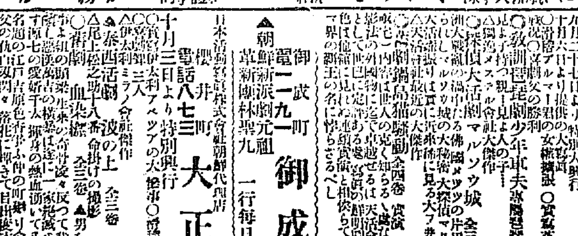
大正館 本日より從前通り開演 舊劇 血染の纏 三卷 新派 二人の母 四卷 日吉川うの子孃 大好評餘興浪花節 本日の讀物 俊德丸 今明日限り

大正館 櫻井町 電話八七三 十月三日より特別興行

御成座 武町 電話一九一 朝鮮新派劇元祖 革新團林聖九 一行每日開演

壽座 京城壽町 電話五七八番 九日目狂言


かぜねつに 一番よくきく


キナピリン

●キナピリンは現代に於ける最新藥にして最も進步せる解熱藥なりこ大方の歡迎を受けつゝあり

●キナピリンは●感冒●熱病●頭痛●インフルエンザ●リヨウマチス●間歇熱(マラリヤ)等に大効あり

定價 二包入拾錢 五包入廿錢 八包入三十錢 十五包入五十錢 三十二包入壹圓

本舖 大阪市堂島元濱 高橋盛大堂藥局

發賣 同心齋橋筋博勞町 高橋盛大堂分店

同 東京市神田鍛冶町 高橋盛大堂出張所

●到る所の藥店に販賣す

可愛い御子方の むし氣、かん、ちゑねつ、ひきつけ 夜なき等の良藥 小兒に宇津の 救命丸

本舖 下野國芳賀郡高根澤 宇津本店

東京麴町區飯田町 宇津出張店

藥價 一十錢 二十錢 三十錢 五十錢 壹圓

●側寒爺 京城林町藥種商韓性鉉(六八)は九月三十日午後四時頃長男の誕生に際し九月二十八日[illegible]

●棄て兒 十月六日午後九時頃京城西大門町二丁目金元鉉方の裏門に十四五歲の行路病者を發見し警察署に屆出でたる者ありたるより警官直ちに出張取調べたるに此者は京城[illegible]

山入港新羅丸(二)二等客 一等(二十四名) 三等(百七十八名)

○七日午後入港壹岐丸(二)二等客

●募集規程 ▲用紙は懸賞又は同型の洋紙一枚每に紙上の雅號又は匿名の外に住所氏名明記の事▲贈賞は一等[illegible]

天氣 曇り但少雨 十月九日

●お母さまになつた鹿と荒熊

新參の海驢君—此頃賑ふ動物園

久しく虎列拉騷ぎで淋れ切つて居つた昌德宮の動物園も此の頃ぼつ/\又賑やかになり始めた八日の日曜久しぶりに動物諸君の御機嫌を伺ふとお馴染の狸や狐、熊公、虎公始め象のお大から

▽獅子の親子連れ

河馬のおぢさん、孔雀孃なんどとお歴々が何れも元氣よくピン/\して居ります狸は近頃お月樣が好いので毎晩腹鼓を打つやらお濠の畔の杭打ちの眞似やらで却々忙しいとの話で、狐は柔和しい顏で斯うして日向ぼつこをして居るけれど尾花時だから嬉し氣がさして堪らないらしくきよろ/\爲て居ます、寢坊のカンガル君は短かい手を胸の上に組合せて晝の日中からスウ/\と居睡をして居たが寄熊の許には坊ちやん孃ちやんだちが机の前でならうやうにガクンガクンと妙な御仁儀などは致しませんきちんと坐つたまゝで眠つて居るのですが

▽時々長い尻尾と

長い後足とをピク/\動かすのは高飛び競爭の夢でも見て居るのでせう

紙を喰べる羊のお伯母さんはつい此の頃可愛/\眞白の子供を二人生みました私はこの子供を見て居ると何んだか西洋人の子供のやうな氣がして成りませんでした、近頃子供の誕生したのは羊の外に鹿とアラヒグマとでどちらの子供も大變に可愛い鹿の子供は犬ぐらゐでお母樣の眞似をして草の匂ひを嗅いで見たりお母樣の鼻先で躍つたり跳ねたりして居ります、ダンスのお稽古をして居るのかも知れませんよそれからアラヒグマの子供と云つたらそりあ大變に

▽可愛い仔猫より

も少し大きい位でお母樣と一緒に棚の上に寢て居りますが、グウ/\いくらでも眠つて居る位だから乾度大變な健者の子供でせう河馬の處へ行きますと子供とお母樣は行水をして居りました河馬のお父樣は大い鐵格子を嵌めた隣の部室で大きな欠伸をしながらおかみさんと子供の行水するのを見て居りました、相變らず大きな手古變な閑體をして居るから私はクス/\笑ひ出したら、河馬のおかみさんが何んだい人の家を覗きながら笑たりなんかしてと云つた顏をしてあの

▽醉つ拂ひのやう

な赤い目で睨み付けました、猿公は幾組もで相撲を取つて居りました、孔雀やインコは何時見ても奇麗ですね、孔雀孃はもうすつかり冬のお仕度が出來あがつて、頭の飾やら、皆さんの羽織や被布に相當するあの美しい羽根を擴げて見せます、獅子の子供はもう大分大きくなつて、生意氣にお父樣がするやうに餇御つて大きな鼾をかいて眠つて居りました、特に皆さまに御紹介しますのは新らしくお仲間入をした海驢君です海驢君は鰭脚類の水産動物で海豹によく似て居りますが異つた處は耳が有ります。

▽茶褐色の綺麗な

毛皮を着て居ります身體は十二三尺も有ります水から出て日向の岩の上に登つてグウ/\眠つて居りましたオイ/\お前は何處から來たんかいと聞いて居ると海驢君大變お愛想の好い笑方をしてハイ/\私は昨年出雲の海からブチ揚げられて今から此處で御厄介になる事にきめましたからどうか宜しくなんて云ふんです

日曜漫畫 虎の皮—めちや吉畫

(1)一昨日も松茸泥棒が來た、昨日も蹴つてやらうとしたが、とう/\逃がしてしまつた、忌々しいから酷い目に合せてやらうと待ち構へて居るとは知らない泥棒先生(2)二三日すると又々山へ入つて來たる山一面に松茸が出てゐるので、占めこのうさうさと大悦び盜るは/\夢中になつて盜んで居たが

(3)不圖見ると、驚いたのなんのつて黃い大虎が大きな口を開けて唯一と口と、飛び掛らうとしてるので青くなつた泥棒先生『ギヤフーン』と唸つた一と聲(4)眼を白くして泡を吹いて居る間に巡査に引き渡して芽出度く檢事局送り。虎と思つたのは相違ないが、死んだ虎の皮だつた

—△會のいろ/\▽—

▲繪畫展覽會 水彩畫伯山本攸駿氏は金剛山探勝の歸途元山に於て揮毫したるもの既に數十枚に達し居れるを以て八日元山有志者の主催に依り商業會議所樓上に右展覽會を催したり

▲教育懇話會 元山教育懇話會第二回例會は七日午後二時より元山實科高等女學校内に於て開會せり

神社とお寺と教會

○西本願寺(若草町)八日午後七時半より日曜講演あり九日午後七時半より月例講演あり

○東本願寺(南山町)八日午後七時半より日曜講話あり九日午後二時より三日教あるべし

○護國寺(旭町三)八日午後八時より宗祖御命日の法話會あり又濱の餅の持寄ある由

●幼稚園運動會 元山私立幼稚園に於ては八日午前九時より松亭里の松原に秋季運動會を催せり

▲興味ある第二回の庭球戰

京城庭球俱樂部對龍山鐵道俱樂部庭球第二回戰は來る十五日の日曜日を期し擧行するに決したるが若し當日雨天なれば十七日の神嘗祭當日行ふ筈、本競技は今春より開始せられ朝鮮に於ける唯一の興味ある競技として第一回戰は京城方の勝利に歸し今次の第二回戰は龍山に取りては是非共勝たざる可からざる復讐戰の意味にし京城方亦第三回戰を俟たず一戰に決せんと兩々日頃より猛烈なる練習をなし鐵道側が滿鐵對戰に心膽を練る時京城側が諸俱樂部に據つて勞練をなす等對爭準備に努め居るのみならず鐵道側には新紀錄時技術を加へ京城側は元京大の選手非常の腕を得たる等顏觸れに多少の變更あるを以て勞々近來稀なる緊張せる試合を見る事となるべし因に仕合の場所は將來定なるも多分西大門小學校コートに決定すべしと

…レラと疑ひて恐れたのであらうと…りて暴行を加へんとしたるより鍾路署にて拘留處分となる

●行倒れ 仁川龍里の…て七日午前十一時頃睾丸膨脹の結果路に死に瀕せんとして苦悶し居るを…として收容し…

●連絡船上陸客(仁川) 七日午前釜…

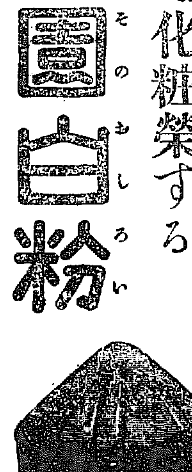
小林重太郎、同清…作太郎、島田てい、同好雄、末次艶三、小林織之助、同恭一、和田四郎、同きし、内山重一、西島信治、武森澤次郎、島庭常市、廣戸まさ、伊藤やす、片山清灣、徳田俄二、同ひさ、川島捨太郎…(十三名)

△短歌 △文園俗謠區 …同十二日 同十三日 同十四日 同十五日 …記に限る

一週間以内に…十錢書籍券を呈す(但何書何號と明…

御料 御園白粉

高尚な化粧榮する 御園白粉



御園白粉は十數年間の經驗に依り、常に其原料と製法に改良を加へて居りますから、ノリとノビのよい事申分なく、化粧する時更めて白粉下を用ゐずとも、濃化粧も薄化粧も自由に美しく着き、其化粧姿の高尚な點に至つては、到底他の白粉では見る事が出來ません。

皮膚が荒たり、硬ばつて白粉が思ふ樣に美しく着かぬ時には、肌理を細かく滑かにし、白粉の附着をよくする白粉下御園クレームをお用ひ遊ばすに限ります、尚洗面後、入浴後に缺かさず白粉下御園クレームの少量を薄く斑のない樣に掌で均で込みますれば、何んな荒い肌の方も決して皮膚の荒れる事なく、塗ける度毎に皮膚が柔軟に肌理は細かく滑かになりますので、白粉は思ひの儘に美しく高尚に着きます。

御料御園化粧品本舖 伊東胡蝶園

御料御園化粧品發賣元 丸見屋商店

壯健なる身体を得るには今直ぐ御使用あれ

品質と價格で大評判

製造元 三田土ゴム製造合名會社 發賣元 飯田商店

胃病良藥 太田胃散

○飲過ぎ食過ぎに妙なり

定價十錢廿錢卅錢五十錢一圓 本舖 東京兩國 太田信義商店 ▲全國到る處の藥店に販賣す

世界名花の精を集めた 香水

清潔な匂は一滴で永く散らず 上流社會大好評の流行品

開店御披露

今般平壤並成鏡道産撰牛を特約致しヤワイ上等の精肉を御用命に可應候御注文の節は遠近に不拘自轉車にて早速御屆可仕候

尚開店御披露の爲め當分添物進呈仕候間倍舊の御引立願上候

京城本町三丁目(日丸市場角) すき燒御料理 仕出し 濱野精肉店 電話二四八四番

營業品目

罐詰 乾物 海産物 雜穀 清酒 銘茶

漆器 家具 文具 紙 荒物 履物

金物 農具 石炭 石油 陶器 磁器

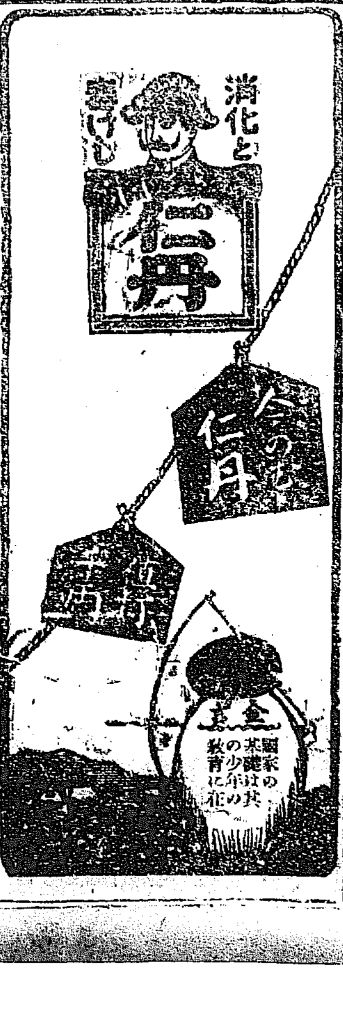
洗濯石鹸 洋蠟 日本釜 京城釜 サバリ井 提灯

蒲團綿 中入綿 小袖綿 鐵火鉢 箱火鉢 飯ビツ

仁川新町 津田兒弟屋本店 電話七六二・三八九番

仁川宮町 津田兒弟屋支店

京城本町 津田兒弟屋支店



宮本武藏

第百八十一回　桃川如燕口演　浪上義三郎速記

寛永十五年の二月肥前原山の一揆も悉く滅びて御名代松平伊豆守殿を始め鎮西の諸侯凱旋をいたし、將軍家光公よりそれ〴〵恩賞加恩の御沙汰がありました、此の御祝ひとして柳營吹上の御庭前に於て諸國の武藝者を集めて試合をいたさせ、それを御上覧に相成りまするので、最も治に居て亂を忘れざるは兵家の常、平素武藝を鍛へて置かないと此度の様な事件があつた時に役に立ない、故に大公儀より諸侯方へ御沙汰となつて武藝者を一人宛差出す様にと云ふことである、茲で諸侯方が家臣の中にて武藝の出來る者を選び江戸表へ遣はしまする、其の面々には備中飯山の羽飼意心斎を始め磯畑伴藏、淺山一傳斎、山田眞龍軒、武内加賀之助、澁川伴龍軒、樋口十郎左衛門、神宮伊豆、丸目藏人、疋田文五郎、塚原小太郎、荒木又右衛門、宮本武藏猶又浪人組には由井正雪、寺西彌惣左衛門中條五郎兵衛抔を始め百有餘人乘込んで參りまする、此度の係りは水野日向守勝成此のお方は此度天草の一揆に種類なき功を顯はして、下總結城より備後國福山の城主となり六萬石を賜はりました、謂はゞ戰場生殘りの老功者、とんと其の氣性は大久保彦左衛門に能く似て居ります此の方が此度の係り、行司役は大和正木坂一萬石柳生但馬守宗矩小野次郎左衛門忠成の兩人、當日は諸侯見物勝手たるべくとある故此の試合を一見せんと諸侯方も擧つて登城いたします、時は寛永の十六年三月の十五日吹上庭前に桟敷を造へ白地に紺を以て葵の紋を染出したる幔幕を張廻し後に金屏風を建廻し、上段には三代將軍家光公、左右に居流れたは大老酒井讃岐守忠勝、老中土井大炊頭利勝、青山伯耆守、永井信濃守若年寄稲葉丹後守、久世大和守、御側御用人三浦志摩守、勘定奉行伊丹播磨守、大目附初鹿野傳右衛門、御目附熊谷助左衛門其他町奉行寺社奉行御小姓御小納戸御小人衆總て天下諸役人綺羅星の如く、警護三百餘人三千席順正しく取控ゑたり、御桟敷下正面に行司役柳生但馬守小野治郎右衛門の兩人床几に凭つて控ゑて居ります、右の方には太鼓を釣し撥を持て一人控ゑて居る、左には拍子木を持て是亦其處に控ゑる、合圖は右太鼓拍子木を以てするものと見ゑ、左右に白地の幕を張つて其の内に控ゑたるは諸國より集つたる武藝者、將軍御前のことなれば靜なることは水を打つたる如く、立合の順席は抽籤でございまして、第一番は磯畑伴藏に淺山一傳齋である、第二番は由井正雪に柳生飛彈守、第三番は高田又兵衛に宮本武藏といふ順席で、抽籤によつて定めたのであるから否應を云ふ譯には參りません、其の内に時刻となつて太鼓を打出し、カチ〳〵といふ拍子木の合圖、第一番の立合磯畑淺山の試合となつた、此時に家光公始め諸侯方此の立合は如何あらんと手に汗して見物をして居りまする處、磯畑淺山は共に天下の名人何れ甲乙なく勝敗分たず引分けとなりました、第二番の立合は由井正雪に柳生飛彈守、是は柳生飛彈守が勝となつた、第三番目の立合に呼出しにつれて其處へ出たるは高田又兵衛に宮本武藏、双方劣らぬ名人、高田又兵衛は二間柄タンポ附の槍を取つてそれへ出で、御桟敷の方へ默禮いたして控ゑる、宮本武藏は二本の木劍を取つて其處へ望む、此時又兵衛は「宮本氏には其の後壯健の態にて恐悦に存ずる」武「是は高田先生には久々にて御意得申す、貴殿にも御壯健にて恐悦に存じまする、今日は其許との立合、同藩にて御懇意の中ではあるが、それはそれ是は是れ、遠慮なくお相手をいたします」又「決して御遠慮には及ばん、手前も未熟ではござるが腕一杯にお相手をいたす」と双方挨拶が終つて互ひに後へ飛退つたが、又兵衛は右の槍を取つて中段に構へる、此時武藏は左劍を突出し右劍を振り冠つてヤツと氣合と共に身構へた。

婦人科　産科　二宮醫院　京城壽町四一　醫學士　二宮亮吉　電話一二〇一番

京染　呉服　京都　たまや出張店　永楽町三丁目　電話一一九六

入院隨意　京城南大門通三丁目（停車場前入る）　胃腸病院　電話一六五九番　院主　佐々木杏造

十月十日　九紫　舊九月十四日　庚辰　本命八白　艮　破　佛滅

▲八白● 野菜議論の事有日 新事日合東方は吉昭 [illegible] 良 ▲九紫● 成就の日 轉居入學金融名出求職 [illegible] ▲一白● 邪魔もの多き日 新事手控へ事は吉 新取引は用心せらるべし ▲二黒● 位負のする事有日 新事手控事は吉 [illegible] 防がるべし ▲三碧● [illegible] 買物に用心せらるべし ▲四緑● 平運の日 午前不印 午後は吉 [illegible] ▲五黄● 厄介至極の事有日 新事手控 [illegible] ▲六白● [illegible] 紹介調印等せぬがよし ▲七赤● 大受大當りの日 [illegible] 求職 婚禮 人寄せ 業等皆吉

坪井工學博士の發見
不老長壽の學理的研究

大阪高等工業學校教授坪井仙太郎氏（應用化學專攻の博士）は十餘年研究して發明した「活力素」を自ら長壽強壯劑の服用した實驗談によると、博士は最早六十に近い年でも皺一つ寄つて居なければ青い筋なども見たくもない半白や一里位走つたとて呼吸が苦しくなる様な事もない此分で行けば前途何年生きるか知れない年の寄ると云ふ者へは少しもなくなつたといふことである又博士が之を用ふる以前はさすが年丈に髪毛に脂氣がなくなりがサ〳〵して居たが今では柔かくなり艶も出て來た皮膚を摘んで見ても皺の寄る様なことはない筋骨も非常に硬化して居たのが追々軟かになつて若い者も同じ様自由自在に働が利く様になつて來た殊に腦の良くなつた事は著しい記憶力も壯年の時さ變りがなくなり爪を切つても前には堅くしてよく割れたものだが今はネバリが出來て柔かく指先も年を取つた爲めに利が惡くなつて紙捻をよる事が出來なかつたが此節は立派に捻れる様になつた、要するに體の組織が還元して若い時と少しも變らない様になつたので年がよると病氣だとか死ぬるとかいふ様な考へが起るものだがそう云ふことは少しも念頭に浮んで來なくなつたとの事である現に白江醫學士は此の活力素を臨床上に用ゐて効力の顯著なることを日本内科學會に報告せられてある。代價は一ヶ月分金壹圓五十錢半ヶ月分金八十錢發賣元東京市京橋區五郎兵衛町五、活力商會振替口座二三〇八六大阪市の代理店は高橋盛大堂、丹平商會、田邊五兵衛説明書無代進呈の由

月やく　なきに御困りの方は郵券三錢封入左に御照會あれ　京城黄金町三丁目　山田志づゑ　薬妙知らす

てんかん　病で時々　ヒキツケ困る方切手三錢送れ永年の病も自宅でなをす最善の良藥を教ゆ　名古屋市中區南小川町　救生館

肺病　肋膜炎　氣管支　には輕症三服重症五服にて効能ある良藥を郵券貳錢相添照會あれ治療法豫防法を供に詳報す　名古屋市西區本町三丁目鈴木盛角堂

平壌櫻町いくよ料理店方
料理人　大西新吉
右者料理人組合親友會員なりしも不都合の點有之十月八日限り斷然本會を除名す
大正五年十月七日
京城料理人組合親友會
平壌支部長　小川菊松

(Patented in Japan, Great Britain and U.S.A.)

MITSUWA COD-LIVER OIL DROPS.

MITSUWA COD-LIVER OIL DROPS. 120 in a bottle ¥1.00
MITSUWA COMPOUND COD-LIVER OIL DROPS. 100 drops in a bottle ¥1.20

Mitsuwa Cod-Liver Oil Drops are round-candy drops of small size, fragrant and pleasant to the taste. Each contains a guaranteed amount of one gram of Cod-Liver Oil. In its nourishing quality, taken without taxing the stomach, taken in so small a size, the Mitsuwa Cod-Liver Oil Drops far surpass any other cod-liver oil preparations on the market.
Mitsuwa Compound Cod-Liver Oil Drops differ in that they contain one-half amount of Cod-Liver Oil and are Supplement with albumen, and a further addition of the effective element of iron, lime and phosphorus quinine.

甚しき臭味を忍びて肝油を飲用すべき時代は去れり
河合龜太郎氏創製
○肝油ドロップス

本邦及英米國政府　專賣特許
○肝油ドロップス　肝油含量一顆一瓦にして麥芽糖及び可溶性含窒素物を以て成る滋養強壯料なり
○複方肝油ドロップス　肝油の含量を半減して、有機鐵、有機燐及び石灰、規那等を含有せしむ

滋養強壯料

肝油が一般の虚弱者、羸痩者、結核性素質者、營養不良に起因する眼病患者、腺病質の兒童等に對し、治療上缺くべからざる滋養劑として内科、眼科、小兒科等の醫家に處方せられ、卓効を奏するは、醫療上の定論なり、然れども其特有の臭味、甚だしく不快なるが故に、其服用を嫌忌せらるゝを慨し、河合氏多年苦心研究の結果、形狀洋菓ドロップスに似て、麥芽糖及び可溶性の含窒素物を基礎とし、一顆毎に精製純良の肝油一瓦宛を正確に含有し、乳化完全にして、分布極めて細密、美味無臭にして而かも容易に食用し得べき「肝油ドロップス」を創製す、本品は從來の肝油諸製品に優り、服用に面倒なる手數、携帶の不便、腐敗の迅速なる等の缺點なく、殆ど本質の肝油たる事を忘れ、兒童は勿論何人も好んで食用し得ると、酷暑の候と雖も、冬季と異る事なく消化吸收の作用頗る良好なる事とは本品の最も優秀なる特色とする所也

（現品縮寫圖）

肝油含量一顆一グラム　一日二回乃至三回服用

五歳以下	一回一顆又は二顆	一日二顆乃至四顆
十歳以下	一回二顆又は三顆	一日四顆乃至六顆
十五歳以下	一回三顆又は四顆	一日六顆乃至八顆
大人	一回三顆又は五顆	一日八顆乃至十五顆

用法　通常菓子の如く食すべし又は鋏を以て細片に剪り冷水或は微温湯にて嚥下するも妨げなし

定價　五十顆入一罐金七拾錢　百二十顆入一罐金一圓　複方百顆入一罐金一圓廿五錢

ミツワ石鹸　ミツワ家庭藥

東京市日本橋區橘町四丁目　振替東京一七一〇番　丸見屋商店　營業部　電話浪花三〇四八、四四九、四五〇番　特約部

古錢　いろ〳〵古錢價格付 [illegible]　發行所　大阪松屋町博物社

七日ツケタラ鏡をごらん色白くなるゲンソ液　小瓶二十錢　徳用四十錢
今東京で大評判の白美の元素色黒き顔赤き顔日ヤケおしろいヤケ、アレを防ぎキメをコマカに根本的色白く眞の美人美男子となる
全國の藥店小間物化粧品店に販賣す近所に品切の時は代金丈の郵便切手を送れば送品す　東京和泉橋際ゲンソ液本舗　松本榮店

外出がちの此節は……（香ひだけでも心地のよい）……
宮内省　皇后宮職　各宮家　御用品
レート乳白化粧水で
地肌を整へるのが何よりも肝腎です

今の數ある化粧水中で是以上の化粧水は無い……（斷じてない）……
全くレート乳白化粧水程附けて氣持よく皮膚を根本から美くしくするものはありません。試みに寢起きに附けても湯上りに附けてもそれは〳〵目醒めるやうに清々しい氣持になる丈けでも其効果が他の化粧水と違ふ事が分かります。その特種の化粧力は幾何外氣に觸れても肌を荒さず素顔を美くしくして、白粉の附をよく致させます。

東京　平尾賛平

京城日報

第三版

九日朝刊 夕刊と合せて十二頁

發行所 合資會社 京城日報社 京城太平通一丁目
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介

支那鐵道借款

京城日報

支那の對米鐵道借款は、支那に於ける、列國の勢力圏を、侵すものなりとの議論、漸く沸騰せんとするもの、如し。抑も同問題は、嘗て故袁世凱在世の際、本年三月頃、袁氏が煙酒税剰餘金の、引渡をも受くるを得ず、財政大に窮乏の餘り、米國ストレートに、交渉を開始せしを發端とし、双方合意略成立して、六月より八月迄の間に、三回に分ちて、交付すべき旨の内約まで纒まりしも、袁氏の逝去、露國の抗議的質問等の故障出で、爲に一時、中絶の有樣となり來りしが、其後形勢一變、新政府成ると共に、南北其他の、暗闘漸く激烈となり、各黨各派相爭ふて、資金の調達に苦心し、其の結果、段内閣は、彼の對米鐵道借款の復活を企畫し、遂に九月三十日を以て、契約の改訂を行ひ、シームスカレー商會より、五十萬弗の前渡金を受取るに至れり。換言すれば本借款は、今回新に生れしものに非ずして、即ち彼の歸化城、寧夏鐵道借款の、變化せるものに過ぎざるも、新契約は契約金額も、布設特定線路をも指定せず、支那政府の希望とする鐵道を、廣く布設するにありと云ふも大體に於ては舊契約を踏襲し居るは勿論なるべく、米國財團は、支那政府の必要なる金額を支那公債として、米國市場に賣出をなすと云ふにあり、而して米國側の説明に依れば、工事は先づ、張家口歸化城鐵道現在の終點なる、山西蒙古の豐鎭より歸化城、包頭鎭經由、甘粛の寧夏、次で蘭州に至るものより開始すべしと之を要するに、實業借款となすも、事實に於て、列國の勢力圏を侵し居れるのみならず、且つ之を、行政費に使用すべきに非ざるべし。更らに一歩を進めて、此の改訂契約は、金額の未定なるのみならず、唯數個條の、鐵道線路を指定するも、特定線路に非ざるを以てしても、實業借款とは稱し難く、且つ鐵道線路の地域より觀るも英佛露等の利權とも衝突す可きは、想像の難からざる也。又た支那國會に於ても、必ずや南方派は、極力之が反對を主張すべき[illegible]なれば、此の借款の前途も[illegible]するに足らむ。

朝鮮の古城郭(十一)

八木奘三郎

(四)城郭の形狀大小(前承)

而して天子の城十二里、諸侯以下之に準じて小規模なりしことは周代の制なり、又公羊傳の註に。

天子の城は千雉、高さ七雉、公侯は百雉、高さ五雉、子男は五雉、高さ三雉

とあり、而して左傳に『三堵を雉と爲す、長さ三丈、高さ一尺』と記すなり。蓋し當時の尺度は今日と異り、所謂周尺に因て云へるならんが、之を現代の尺に直して測定せば其大さを知るに足る可し、又五經異義に

天子の城は高さ九仞、公侯は七仞、伯は五仞、子男は三仞

とあり、是も古尺にて、仞は周代の八尺なり、故に現時の分に換算せば其數を得可し、然れども尺寸今より減ずるも、高さ七十二尺の城郭ある可き筈なければ、恐らく城樓、天守樣の建物を指せしならん、此尺度の可否を決するは古來衆說ありて面倒なれば他日に讓りて、彼の千雉百雉の記事に就ては、寺島の三才圖會に按文あれば左に揭げて參考に供す可し。

按ずるに所謂天子の城千雉と云ふ時は則ち三千丈なり、(六尺五寸を以て一間と爲す)四千六百十五間許り(六十間を以て一町と爲す)約七十七町許り、當に方二里なる可し、甚だ廣く廣きものなり、然るや否や

寺島が方二里の城を大に過ぎるが如く思考して『然るや否や』と言へるは、所謂島國的觀察なる可し。周書によるに。

周公云、余畏周室不延、以爲天下宗、乃作大邑、成周於土中、立城、方千六百二十丈、郛(郭なり)方七十二里、南繫於洛水、北因於陝山。

とあり、此七十二里は今日の六丁一里には當らざるも、何にせよ其大なることは豫想外なり、但し周書は後世議論ありて、漢儒の僞作ならんかと云へば、其間に多少の掛値はあらんも、三輔黃圖に。

惠帝(前漢)更築長安城、周廻六十五里。

とあるは事實なる可く、其日韓に比して意外の大城ありしことは疑ふ可きにあらず、而して支那も歴代城郭の制は變化せしが、併し身分に據り國により大小の別を定めしことは確かなる可く、又朝鮮に於ても新羅統一後は、多少斯る制度的の規定ありしならん、予は未だ其詳細を知らざれども、世の城郭研究を試むるものは先づ此點を豫期して觀察すること肝要なる可し、蓋し古城は高さを知るに苦めども萬一殘存の部分あれば之を細記することを忘る可らず。以上は總論に過ぎずして、猶他に名稱の解釋を要す可きもの數多あり、例せば雉堞、甕門、牙城、宮闕、武者走り、多門の類にて、其中、日本名、漢名の別あり、又甕門の如く、他に迂城、月城、甕城、副城、八卦場、饅城などと記する例あり、皆な一物異名に過ぎざれども知らざるものは解釋に苦しめり、然れども是等は其都度に記することゝす可し。

北滿洲より

△砂糖官營問題

砂糖官營問題は露國大藏省機關紙と稱せらるゝ『トルゴワヤプロムキシユロンースチ』が一度筆に上せてより今や露國各地の新聞紙に賛否の議論を揭載しつゝあり露國に於ては其生産力は其消費高に及ばざるもの、如く實際各所に砂糖の暴騰と砂糖の拂底を告げつゝあり乃ち政府專賣問題惹起し來れる所以にして之に由りて以て砂糖の値段を統一し商人の濫りに暴利を貪るを防止せんとするにあり大學教授ミグーチン氏の意見は目下衆目の集まる所なるが砂糖の時價が其製費に相當せず騰貴に次ぐに騰貴を以てしつゝあるは全く投機師の仕業に外ならず國民は事實上餘計な利得を彼等に支拂ひつゝあり砂糖製造師の多くは個人經營の銀行シンジゲートの掌中に歸しつゝありて全國の砂糖工場若くは精糖所は參分二以上把握する所となりて此點のみを以てするも如何に投機者流が跳梁しつゝあるかを知る可しさりながら精糖所が彼のシンジゲートに歸したるは千九百貳年の事にして其れ〳〵思ふが儘値段を定めつゝあるなり茲に於てか政府が酒精專賣を斷行したると同樣に精糖所をば殘らず絕對に國家の掌裡に收めて實業者をして一定の値段表を遵守せしめば初めて該病弊を根治するを得べきかと云ふにあり尚ほ反對するものは砂糖の暴騰は銀行には非らず製造家にも非らず却つて小賣業者にして砂糖官營は何等の効能を齎らさずといふにあり

△砂糖制限賣渡

哈爾賓市役所は砂糖の賣渡額を一家族に付き二斤までと制限せり現在の貯藏は僅かに數樽に過ぎず之れ尚ほ支那商人は早くも之に乘じて利を圖りつゝあり

△奢侈品禁輸令

露國は愈々一週間内を期し奢侈品並に果實類の輸入禁止令を發布するに決定したりとの報あり哈爾賓總領事に就て之を聞くに未だ何等の通知なき由なるが奢侈品の輸入禁止法案は本年五月頃提出され爾來委員會の手に於て調査中なりしものなれば或は之が發布制定を見るやも計られずと

日報詩壇

○風雨渡漢江　安東 學雲
風雨攪江黑氣腥。渡頭無客水冷冷。荻蘆蕭索戰魂斷。伴〓燈光小似星。
評曰 凄寥之至

○訪成田眉石翁　木田 芳洲
詩酒溫盟情味深。興歡不盡此時心。匹如宿雨放晴夕。明月淸風拔戀襟。
坐到夕陽將沒頭。合歡未盡又離愁。尤欽冰雪君襟度。七月相看〓似秋。
評曰 言情感歎、風致可想。

○月下臥舟　高井 樵堂
扁舟載月儘風流。放棹長江十里秋。我亦忘機與似鷗。悠然貪夢不辭頭。
評曰 襟懷亦與月玲瓏。

○次木田芳洲見寄韻二首　望月 桂軒
逢此良宵奈獨何。天涯回首恨殊多。玲瓏如玉須磨月。碎作千波又萬波。
獨步松前砂白間。滄凉人去晚來閒。笛聲何處促懷古。鐵遂峰高鐵拐山。
評曰 興到之作、不費力而妙。

日報歌壇

京城 須古優羽花
我が鏡絶へず寫るはうたはれし日の我が樣と君が面影
いと熱き淚の滲む瞬間の心に淺り歌反古を讀む

京城 たかし
大いなる銀杏樹は立てり大いなる銀杏樹となれる小さき木の實
有りと在る世の何ものにも換へ難たし若きが故にわが得たる夢

木町 梅子
船戀ひし船に殘りし吾が戀のはかなき海に落つる秋の日

京城 石花島たかし
地には地の人には人のわびし秋森に佇むその木その人

[illegible]出初むるに至ら[illegible]爭を見るに至ら[illegible]本年の相場は[illegible]れども熊本の豆價上に及ぼす受きか將又馬の飼料として相當の需用ある[illegible]なりと觀察され居れり[illegible]入るゝものある[illegible]期すべからず且戰後西比利亞の發展[illegible]住民は衣食住に大影響を受居れり(滿洲里)

實業帝國 十月號
至誠の力……加藤社長 ◎時弊を痛論す……松岡康毅
陰謀の大伏魔殿東京瓦斯株式會社(社說)
全國實業學校大評判記(其二) 日本女子商業學校 京都第一商業學校
朝鮮を斯く統治せよ……李達 ◎好機脚下に在り……大倉男爵
化學上新發見 炭燒の煙を利用す設備
簡便にして……國益一億萬圓
事業は何故衰頽せるか……碧水生 ◎無盡藏の富源長江一帶
坂仲輔
萬病を全治すべき法術……三宅長
實業帝國社 東京日本橋區本町一ノ十四

東洋經濟 十月五日號
行詰れる臺灣と其開展策……三浦鐵太郎
手形交換に現れた財界の趨勢……經濟旬計
歐洲開戰以來の米國外國貿易……調査
戰時的商品の在荷激増……財界要報
本邦輸出入品詳解(紙)……坂口武之助
如何にして平和の戰爭に準備すべき乎
日露戰後と今日の紡績業 ◎小論數項
何ぞ戰時利得税を起さゞる
軍需註文の杜絶と我財界
東部蒙古の羊毛……筑紫眞門
東洋汽船の決算……市場概觀
日露戰後の日本製綿所……放資
内外綿の優勢(二)……經濟統計
株界十年 當に有用の株界十年史 高低相場表 配當率其他
東京牛込 東洋經濟新報社 振替六五一八

英語界の代表的三雜誌!!

英語入門雜誌 ABC
記事は面白く挿畫は豐富
英語初學者の本誌はABCの一ツも知らぬ全く英語の入門者に適切なる理想的英語雜誌として定評あり

中學三年程度 中等英語
實に滿てる記事益々夥多
全誌に活躍せる記事悉く面白く平易にして明快親切にして周到殊に十月號は趣味充滿の記事滿載!!

日本一理想的 英語研究
努力たる歷々拾月號
英語雜誌界最高の權威を以て世に許され而して常に斯界の模範たる本誌秋氣特別號の盛容に接せよ

研究社發行 東京市麴町區富士見町 振替東京二八六〇一番

大日本 十月(海軍)號
本誌は大日本主義を理論的に遂行すべき外政軍備の伸張を圖り以て光輝ある日章旗の下に國權國利の擴大を圖るに在り
社友募集 今や世界の一大回轉機を際して吾人は大日本主義を絕叫し弘く滿天下に同志に求む奮て贊助勢援を乞ふ
帝國艦隊と假想敵(社說) ◎日英關係と海軍擴張 ◎ 太平洋上の索敵
東京牛込 大日本社

朝鮮之金鑛
朝鮮總督府技師理學士 川崎繁太郎氏著述 京城通信記者 町田長作編
發賣元 京城本町二丁目 大阪屋號書店 振替京城二五七三番

書畫骨董雜誌 壹百號記念擴大號
口繪 御眞影奉揭の位置 ◎ 日本畫の世界に於ける地位 ◎ 國際論壇に於ける日本畫家の使命 ◎ 支那古書畫研究の困難 ◎ 日本美術の特徴
定價 毎月一回一日發行 一部金十八錢
書畫骨董雜誌社 東京麻布區

登錄商標 清罐劑
汽罐保護 ◎ 罐石豫防 ◎ 腐蝕防制
信用ある理想的清罐劑を使用して燃料節減を計るは汽罐使用者の急務なり
製造發賣元 彌滿登商會 東京市京橋區木挽町三丁目

新刊圖書御案内
地理教授の方法及び内容の研究 ◎ 刑事訴訟法 ◎ 歐洲戰後の財政及金融 ◎ 刑法判決實例 ◎ 改訂増補西洋史眼 ◎ 株式大鑑 ◎ 最新式辭と演說 ◎ 祇園畫集舞姿 ◎ 後の殿窟王 ◎ 茶話 ◎ 夏滴十郎 ◎ 八犬傳物語 ◎ 大僧正天海 ◎ 法學通論 ◎ フォードの社會學 ◎ 朝鮮語學提徑 ◎ 露國研究 ◎ 强い身體を造る法 ◎ 大正五年最近朝鮮事情要覽 ◎ 朝鮮巡查受驗準備書
京城本町二丁目 日韓書房(?) 玉松堂書店

品質優秀は 酒 忠勇
最後の勝利を獲得す 絕對の信用を博し
攝津灘新庄家 若林合名會社
特約店 京城本町三丁目 山本富之助商店

富の道しるべ 山縣五十雄 村上唯吉共著

新刊書御案内
本邦鐵道の社會及經濟に及ぼせる影響 ◎ 古代より現代まで西洋哲學史 ◎ 自治主義教育革新の根底 ◎ 學校兒童精神檢查法指針 ◎ 世界見聞 ◎ 心靈の現象 ◎ 禪窟閒話 ◎ 一喝禪 ◎ ユーモア十種 ◎ 東西古今偉人之面影 ◎ 新譯西洋品性論 ◎ 米株點滅學の粹 ◎ 米相場の奧の手 ◎ 期米株式天底直市測定極秘 ◎ 實驗米相場極意 ◎ 增訂普通文官試驗提要 ◎ 朝鮮語熟語解釋 ◎ 增訂六版引譯通話 ◎ 土木設計簡易測量法 ◎ 最新祝辭祭文 ◎ 男女和合の秘訣 ◎ 哲學五流辯及其他
京城本町 大阪屋號書店

最新刊 日本氣候學
前神戶測候所長 六甲山測候所長 中川源三郎君著
菊判洋裝特製全二冊 ◎正價二圓五十錢 ◎送料廿五錢

農民の訓練
愛知縣農林學校長 農學士 山崎延吉君著 最新刊
高評忽再版
發兌 裳華房 東京日本橋

◎親任式は九日

新内閣々僚顔觸決定

新内閣々僚の顔觸は既に決定し、各政黨領袖との會見も濟みたるを以て、寺内伯は九日午前中に參内天顔に咫尺し、親しく内閣成立の次第を言上し其の結果直ちに親任式御擧行の運びに至るべし(東京特電)

◎寺伯内閣成立挨拶

大隈侯を始め三政黨々首訪問

寺内伯は八日午前八時五十五分自動車を驅て麻布笄町の自邸を出で大隈侯を早稲田の私邸に訪ひ後繼内閣成立の次第を告げ、何分の後援を與へられたき旨依頼し十時辭去直に自邸に引き返へしたるが更に伯は午後零時二十分加藤同志會總理を下二番町の私邸に訪ひ午前、大隈侯に述べたると同一意味の挨拶を爲し一時退出其より芝公園の原政友會總裁邸を訪ひ續いて犬養國民黨總務を牛込馬場下の邸に訪問し何れも前同様の挨拶を爲し三時過ぎ自邸に歸れり(東京特電)

◎大山元帥參内

大山内大臣は八日日曜日なるにも拘はらず御召に依り午前九時三十分參内 天皇陛下に拜謁仰付けられ種々勅問に奉答し十時四十分御前を拜辭し宮内省の自動車を驅つて目白椿山莊に山縣公を訪ひ種々協議する所ありたり(東京特電)

◎寺内伯邸訪客

八日寺内伯邸往訪客の重なる者は後藤新平男、安樂兼道氏、兒玉秀雄伯、有松英義氏、大島陸相、波多野宮相、加藤海相、勝田主計氏等なり(東京特電)

◎米國媾和斡旋打消

華盛頓來電＝米國々務省は六日打電の媾和風説(獨逸がウヰルソン氏の媾和斡旋を希望し其爲め駐獨米國大使ゼラード氏は近々歸米す可しとの風説)に關し公式に左る事實は全然無しと信ず可き充分の理由ありと聲明せり(紐育電報)

◎露軍獨土軍に捷つ

ブルジヤジヤニー南方に於て露軍は更に若干の陣地を占領し獨土軍數回の逆襲を擊退せり(露都電報)

◎露羅軍攻勢上首尾

露都來電＝ドブルジヤにがける露羅軍の攻勢は上首尾にて進展し二個の都邑は我軍の有に歸せり(紐育電報)

◎獨潜航艇米國來著

ロード島ニユーポートよりの來電に依れば獨逸潜航艇オー第二十三號はウヰルヘルムシヤーフエンより出發し大西洋を横斷し航行十七日間の後ニユーポートに到著したり右潜航艇は甲板上に一門の大砲を据ゑ付け居れりと(紐育電報)

◎陸麾下兵廣東入城

廣東來電＝廣東督軍陸榮廷氏麾下の兵一萬五千は六日以來平穩裡に入城しつゝあり陸氏は尚ほ佛山にあり市民は多數の軍隊あるが爲め恐怖の念を生じて歡迎の禮を表せず(上海電報)

◎元山九月經濟

元山港九月中に於ける金融狀況は[illegible]は元山市場に出廻り[illegible]方より自ら元山市場に於ける同品の取引は相當の[illegible]常川必要品の入荷に過ぎざりしが[illegible]度に上昇したる結果幾分賣行きを[illegible]相當に在荷潤澤なるの有様なりき[illegible]し從つて在荷比較的豐富にして之れ[illegible]が手持資金も相當に[illegible]資金の需要ありたる爲め金融は引續き[illegible]緩慢にして小繁裡に經過したりと又た[illegible]出に於て十五萬四千七十五圓を減じ[illegible]輸移入に於て十一萬八千七百六十三[illegible]ち五十萬一千二百四十八圓の激増[illegible]なれり今之れ等主なる原因を見るに[illegible]は前月に比し石油其他一般の[illegible]れば出增[illegible]なり其他豆、牛皮、黒鉛等の出增を示したるもの如し(元山)

◎殿下オムスク御通過

御巡遊の途にあらせらるゝ閑院宮殿下隨員内山侍從長より八日宮内省に左の電報ありたり(東京特電)

閑院宮殿下には六日午前三時オムスク御通過十一日長春著の御豫定なり

◎煙草輸出好況

今後尚ほ激增せん

製造煙草の輸出は月を逐ふて好況を呈し八月中の如きも其の輸出高は口付紙卷煙草七百九十四萬本價格一萬八千八百三十圓、兩切紙卷煙草九百十五萬三千本價格一萬六千八百九十圓にして價格合計三萬五千七百二十圓を算し一月以降の累計は口付紙卷煙草三千四百五十一萬八千本兩切紙卷煙草一億二千三百五十八萬六千本刻煙草五百二十二貫此の價格合計三十萬五百七十六圓餘を示せり而して之を前年同期間の輸出高二十三萬四百五十五圓餘に比すれば實に三割の增加なるが尚ほ鮮内製造業者の奮勉に依り滿洲方面に對する輸出は今後更に激增す可きを以て本年内の輸出は未曾有の殷賑を呈す可しと豫想せらる、今八月中並に一月以降八月末までに於ける輸出高を輸出地方別並に輸出業者別に示せば左の如し

▲輸出地別

地名	八月	一月以降累計
安東縣	五、五〇〇圓	九〇、七六三圓
開原	—	七〇二圓
子平街	—	三一〇圓
本溪湖	二四〇圓	八六三圓
鐵嶺	—	一八七圓
撫順	—	一三四〇圓
奉天	一、三〇〇圓	三三、七八六圓
大連	一七、九三五圓	八一、五四八圓
天津	四、七五〇圓	四、七五〇圓
青島	四、二三〇圓	五二、〇三〇圓
上海	—	三、三〇九圓
香港	—	三、三九〇圓
間島	一、二五〇圓	二一、四三二圓
揮春	五〇五圓	四九二五圓
其他	一〇圓	六五一圓

▲輸出業者別

地名	八月	一月以降累計
東亞會社	二三、四四〇圓	二二九、九六五圓
朝鮮會社	一一、五五〇圓	五二、八八三圓
釜山會社	七二〇圓	一五、〇九九圓
大邱製品	—	五三四圓
東光社	—	四四八圓
其他	一〇圓	一、六四八圓

◎關稅收入好況

累計三百五十六萬圓

九月中朝鮮の關稅收入は輸移出稅三萬六千八百十圓輸移入稅四十六萬四千零三圓噸稅五千七百七十八圓雜收入一萬四千百七十九圓合計五十二萬零七百七十圓にて一月以降の累計は三百五十六萬三千二百三十四圓を計上し前年同期より五十萬一千四百八十二圓の增加なりと

◎地方經濟狀況(六)

仁川商業會議所調査

忠南禮山郡地方

▲稻作 六月中旬以降の霖雨は山間部、平坦部を通じ從來旱魃のため挿秧不能を常とせる畓も一齊に移植を了し得たるも七月に入りての過度の降雨は用水多量に失したるため畓大半部の植秧へ[illegible]を見るに至れり然しながら八月上旬に於ける連日の降雨は過量の[illegible]なきにあらざるも概して各方面共用水潤澤[illegible]除草其他一般の作業を順調ならしめたり而して用水の豐富と天候の[illegible]とは稻の生育を[illegible]甚を促し堤堰築洪により灌漑せる畓に在りては自然分蘖數を減じ之れに反し從來旱害を常とせる畓[illegible]を見るが如し前年に比し一割内外の減收は近來稀有の豐作にして平年に比し三割以上增收の見込なり但し兎角[illegible]しては浮塵子の發生なく一部分に於て螟蟲の發生を見たるも直ちに驅除し得たるを以て被害程度少なし但し兎角天候の險惡なりしため村落に接近せる畓に在りては點々稻熱病に罹りたるもののありしも八月中旬以降出穗結實共に天候快晴にして漸次順適の發育を遂げ反別の增加と相俟つて平年作に比し四割の增收豫想なりとす

▲麥作 播種以來兎角天候の適順を缺き生育良好ならず出穗不充分なるに加へ收穫に際し多量の降雨に依り著しき障害を受け前年に比し四割強の減收を見るに至るべし

▲大豆作(豆類) 五月末大體の播種を了り氣候順調なりしが六月中旬に至り連日降雨ありたるため發芽充分ならざる折柄八月に至り降雨のため開花結實共に阻害せられ生育不良なるも稍後天候の恢復を得ば幾分良好の結果を見るならんも概して本年作は發芽後の天候不順の爲め平年作に比し四割方減收の豫想なり

▲雜穀 前項麥作大豆作と等しく降雨多量なりしため生育意の如くならず粟、蜀黍の如き出たしく減收を見るべく其他、稷黍、玉蜀黍共に前年に比し四割方其の收穫を減少すべき見込なり

▲貨物集散狀態 當郡は忠南北部に於ける大市場にして集散力亦頗る廣く市場の主なるものを禮山、大川、德山、大興、新禮院、光時となす就中禮山、大川、德山は忠南道中に於ける屈指の大市場にして開市日は頗る殷賑を極む而して禮山邑以南の大興、新陽、光時及び隣郡青陽北部の生産物は禮山を經て牙山郡、新昌より海路仁川へ又た西部一帶に於ける生産穀類は德山、大川を經て唐津郡當里浦より是又海路仁川へ仕向けらるゝものにして一箇年に於ける兩津浦よりの輸移出量十四五萬石を算す然しながら本郡内生産高の大部は昨年收穫後三個月内に於て其大部を仁川に向け移出せるため最近市場に現はるゝもの極めて少なく在米商を唱へ寧ろ仁川平澤方面より逆輸入を仰ぎ辛うして一部當用口の必要に充てつゝあり相場の如きは幾び高調を示し目下中白米一石十六圓三十錢を唱へ細民の一部は甚だ困窮に陷り居れり而して麥は前述の如く天候不順に依る減收の爲め如上の在米薄の折柄前に[illegible]べき鮮にも達せず頗る悲觀すべき[illegible]なりしが幸にも新穀出廻りの時期に迫れるため人氣自然に活氣を帶び弗々ながら新穀の出廻を見るに至れり相場は取引上仁川と密接の關係を有するが故に收穫の時に於ける農民の賣り急ぎの爲め一時安物取引を見るの外概して仁川相場に依り左右せらるゝを常とす最近各市場取引相場左の如し

白米(中白)	一六、二〇〇	小麥	七、五〇〇
大豆	七、四〇〇	小豆	八、三〇〇

本郡内に移入する物資の經路を四とす(一)は牙山郡[illegible]を經て大川、德山及び禮山に集まるもの(二)は唐津郡當里浦を經て大川、禮山に集まるもの(三)は天安驛より溫泉を經て禮山に入るもの(四)は[illegible]而して如上の經路に依り移入せられたる物資は前記主要市場に[illegible]就中禮山は郡の中心點たる同地にして[illegible]廣く郡内は勿論洪城、青陽、公州郡一部に亘り[illegible]今年に入りても財界不振の爲め各市場[illegible]八月に入りて舊盆節の需要品の荷動を見ると共に[illegible]市場取引相場左の如し[illegible]

▲金融經濟狀態及び金利 當地方は年中を通じ金融の最緊は收穫期第一期納稅期(十一月)舊盆(九月)にして[illegible]仁地方より[illegible]出張し多額の取引を行ふが爲め當地湖南銀行[illegible]貸送金取引を行ふ[illegible]資金の需要[illegible]第三期[illegible]

金巾 一疋 [illegible] 石油(松一函) [illegible]
晒寸(大) 一箱 [illegible] 砂糖 一斤 [illegible]
酒四斗入 一樽 [illegible] 麥粉 一袋 [illegible]
洋燭 一函 [illegible]

▲有望なる仙掌港 禮山より流下する金馬川と牙山郡に突出する先端に一港あり是れ即ち仙掌港なりとす港灣敢て深きにあらざるも仁川との航路一日禮山を距る僅かに三里にして奧地牙山、禮山、青陽、大興、德山、洪城等の都邑市場を控へ忠南中央部の咽喉を扼せるを以て貨物の出入頗る頻繁を極め恰も京釜線開通前に於ける小仁川を爲せるの感あり而して港灣は所謂朝鮮西海岸に於ける淺灘を免れざるも幸ひに金馬川の二川に依り深く[illegible]船舶を入れ得べきを以て今や忠南北部に於ける最良港として知られ仁川との交通絡へず[illegible]出入船々多きを加へつゝあるも如何せん港灣の設備不完全にして帆船及び石油發動機船の外大船の入港する能はず且つ[illegible]將來に於ける發展は[illegible]仁川對忠南[illegible]の消長にも[illegible]事ならん斯るものとす

◎群山客月經濟

朝鮮銀行群山支店調査

舊盆節期を比較的閑散裡に見送りたる金融市況は九月に入りて各種資金の需要の一段落を告ぐると共に更に閑散の度を加へ上半期までは端境期に於ける例年の緩漫を迎へたりしが當地方の米作は屢々霖雨に襲はれ而かも再度の出水は作柄に及す惡影響尠からず一般に氣遣はれたりしも目下の狀態にては著しき被害を與へざりしものゝ如く殊に當地勢力圈内に屬する忠淸南道は稀有の出來榮へにて順況を謳はれ之れが豐穰は大に地方の人氣を復活せしめ財界の前途も幾分活氣を帶ぶるに至りたれば綿布類の如き更衣期に入りたることゝて弗々出貨を促し一面冬物仕入準備等に相當資金の需要を喚起したるが移出方面にありては牛皮の聊か活況を呈しつゝあるの外何分にも在米の薄きと内地市場の不勢により殆んど注文杜絶の姿となり僅かに地方精米原料に取引を見るに過ぎず從つて荷動き少なく特に本年は時候の關係上新穀の出廻りを遲らし未だ見本的僅少の廻著にて市況甚だ不振の狀態なれば資金の移動亦伸長に走り大體の金融は尚緩漫にして三十三萬五千三百餘圓を各減せり

◎川村元帥動靜

七日元山方面に向ひたる元帥子爵川村景明氏は松井參謀楮處食副官を隨へ八日夕刻入京朝鮮ホテルに投せり九日午前九時十分發列車にて平壤に向ふべし

◎秋山視學官の歸宅

秋山總督府視學官が公務を帶びて出張の途中赤痢病に感染し水原慈惠醫院に入院し藤井院長の手篤き治療を受けたるも捗々しからず益々危險狀態に陷りたるため八日午前森安博士の診察を求めたる上京城に引取ることゝなりたり弓削學務課長、有賀第一部長、岡、太田、成田の各校長其他十數名附添ひ同日午後二時二十五分南大門著にて引取りたり南大門驛には總督政務總監代理遠藤秘書官、宇佐美内務部長官、豐永博士、隈部警務部長、大塚第二課長、金谷府尹等を始め學務局員、各公私立學校教職員三百餘名ありたり

◎朝鮮米の改良

仁川某當業者の談

仁川に於て米穀改良を標榜したるは十有餘年來の事にして市場制度を設け檢査部を置き以て朝鮮米の改良を向上せんとし漸次事業の進步と共に商業會議所をして廻著檢査を施行せしむる等種々なる方法を用ゐ調製仕良に努めたる一方他道に於ても改良を標榜し最も劣惡視されたる朝鮮米に對し品種の改良調製に全力を傾注したる結果朝鮮米の聲價自然と需要市場に喧傳するに至り從つて朝鮮米取扱者より乾燥調製叺目包裝等に關し現狀より一步を進むるに於ては一層聲價を向上すべしとの要求あり當業者も臍を固めて改良に熱中しつゝある折柄大正四年總督府令に亟いで適合

忠南より

小原烏兎生

恭安邑にて 一筆啓上昨日瑞山邑發、蒲島を經て、恭安邑著、去秋、始政五年記念金牌を、一個の功勞賞として受領したる同地、李基升氏一族を訪問仕り、其の經營に成る、八十餘町步の山林、三十餘町步の農園及び機業工場等見物仕り候。成績頗る出色に有之候。感すべきは、それのみには無御座、同氏一族の家庭輯睦の狀、世間稀に見る所なるこそ、別けて又、公共心に篤き事とに有之候。同族の家庭は、其に活ける敎育の資料に御座候。此の點機會を見て、更に申上ぐる事も可有之と存候得共、今は只、同家々憲十五則中、左の數則を茲に掲げ候に止め置き候。

兒童遊戲 栽桑培蠶、養雞養蜂 放逸自在、切心固定
婦人勤勉 栽梢採桑、飼豚養雞、錢金自生 勝於看花
與人謀話 語長則厭、言多則虛、簡單叮嚀 精神一節
殖産興業 勿貪近利、恒思遠慮、我與一業、衆彼共益

同家に關する美談與に少からず、返し讀む李氏が家憲や菊の灯に 朝霧や李氏が鄕閭の家々給す 感嘆に不堪候。

出で米穀檢査を施行するに至りて當地當業者の意想益々零固なるを得たり要するに朝鮮に於ける主產たる穀物の改良は各生產者たる農家に於て大に意を須ゐざるべからざるは勿論之が收穫の多少と價格の高低は啻に農家の得失に關係を有するのみならず之を調製する當業者の留意すべき要項にして蓋し經濟界の消長に影響すること甚大なるを以て產米の增收を圖ると價格の昂騰を圖るは實に刻下の急務なりとす而して米穀檢査施行後に於ては農耕上多少注意を促したりと雖も尚未だ改良の餘地尠なしとせず加之米穀乾燥調製改良十分ならざるより籾、碎米、軟質米、夾雜物混入等を生じ又調製不良の結果夾雜物多く再調製を爲すに非ざれば輸出檢査に合格せざる缺點あり該檢査の方針は此の缺點を補ふものにして又包裝容量に制限を與へたるは包裝に在りては叺の粗惡なるは濕氣の浸入を受け爲めに蝕を釀し且つ脫漏米を多からしむる事容量にありては之を一定せざれば取引上の不便を來すのみならず市場の信用を缺ぎ聲價を落すこと等の關係に依るものなり所謂之等の不備と缺陷を補ふ爲め檢査令を以て極力勸獎誘掖したるも多年因襲の久しき商習慣に就ては一朝一夕に効果を擧ぐること至難あるが故に現在の檢査方法は品質に及ばず至つて單純に實行し得る程度を以て施行せられたる次第なるも當業者に在りては一層改良の目的たる最初の意思貫徹を期せんと欲し調製器具の整頓より米合調製の程度に一步を進め從來認容し來れる混合米の惡習慣を改め漸次向上の步調に出づるは多年希望の展開として今後注目に値すべき問題なりと某當業者は語れり

人事消息

▲工藤英一氏(平南道長官) 入京中の處九日朝退京
▲北里柴發郎氏(帝國生命専務) 入京中の處八日夜退京
▲神林啓太郎氏(咸興炭礦専務) 九日朝入京浦尾へ

南言北語

後藤新平男の故伊藤公評は抑々奇抜で面白い▲公は眞似るべからざる智者であつて又た眞似るべからざる愚者であると▲智者と云ふのは日淸戰爭の講和談判で賢に智が能く働いた▲公が下手な英語で談判するのを陸奥伯が笑つた處が此時始めて公は陸奥伯を怒鳴り付けた兎に角驚くべき智者である事は彼の談判で分る▲愚者であると云ふのは女に關係した事で日本全國ばかりか外國にまで及んでだらしなくやつたのも企及すべからざる愚者である▲章支那公使はじよさいのない好外交官で殊に親日だ▲或る歡迎宴會で一時に電燈が消ねて會場が眞暗になつた▲やつと明るくなると公使は起て謝意を表し日支親善の必要を説き▲一時意思の疏通を缺ぐ事があつても夫は恰も電燈の消ねた樣なので暫時の後には舊態今の樣に明るくなりますとやつたので大喝采▲今度貴族院議員になつた前の大藏次官菅原通敬君は近來三吹主義の信者になつた相な▲三吹主義と云ふのは朝起きたら法螺貝を吹く晝は尺八を吹く夜は屁を吹くのだ▲人が笑ふとムキになつて何が可笑しい法螺と尺八とは大隈侯に法螺貝を送つた澤來太郎君に敎はつたのだ▲屁は高島米峯先生のヂキ傳であつて資本入らずの近代式衞生法だと最眞面目な說明▲其れでも屁を吹くのはチト亂暴だ

□附錄 本日再築落成號錄四頁

◎旅僧の頓死

佐賀縣佐賀市[illegible]一丁目下宿屋中村竹藏方に投宿し[illegible]るが翌三日午前零時五分突然四疊半の客間にて敷布團の上に横臥し[illegible]團を枕にして約三十分許り苦悶し[illegible]結果途に頓死したり[illegible]

十月十日より十四日まで五日間(三階ニ於テ)

よせぎれ 大賣出 見切及物

京城本町 三越呉服店

……に於て一時出荷小間を呈したるも明太、若目等の廻著盛んなりしより產地の在品稀薄となれるが之等の多く[illegible]過ぎたるを以て氣配[illegible]端 產地筋は多少强氣を示せりと雖も[illegible]換期の事とて一般に移入氣薄く單に[illegible]大口の仕入を了したる[illegible]拘らず尚且つ前月に劣らぬ移入額を示し相場極[illegible]例年に比し約一週間早く今や將に出廻り盛期も迫り居れば大豆買付仕込[illegible]せり之れを前月に比較すれば輸移[illegible]移出は十七萬七千九百[illegible]入增となり輸移出品中皮革製品は前月に比し減退せるも前年同期に比す[illegible]清酒、米、不油、布帛類の[illegible]

[illegible]後十一時著の江原丸にて著迎し奥町[illegible]寺町妙覺寺住職黑田惠海より大連[illegible]遂宗布教所宛ての添書を貰ひ二日午[illegible]脚氣衝心を起したるものらしく[illegible]より其旨屆出たれば菊池醫師の診斷[illegible]後春日町日蓮宗布教所にて引取る事となりたり(大連)

朝鮮秋季機動演習觀戰記

▲沈村山城陣地の攻撃

八日午後三時 沈村にて 三好特派員發

八日午後烈風の中を東軍總退却

八日の演習地附近は朝から秋雨が落ちて來さうな陰鬱な空模樣であつた此の日は早朝から新基地方に露營した東軍の攻擊によつて沈村附近に滯陣中であつた西軍と大衝突を爲すべき日である、此の日の兩軍の策戰は飽くまで追擊を續行して當初よりの目的地たる黃州を衝かんとするに對し

西軍は新に平壤の軍本隊より增援隊の進發した情報を得て茲に前日來の守勢を一變して茲に猛烈なる逆襲を行ない敵支隊の主力を追擊し殲滅せんとするのである、西軍に取つては當に生死の岐るゝ所である、此の大衝突戰を觀るべく余は沈村に來たのである、池內支隊長の率ゐる東軍の一隊は未明より隊の運動を起して七時過ぎ沈村驛東北方に到着、直ちに正方山城一帶の高地を占領して茲に兵を展開し山腹に半圓形を畫き斜角を保ちつゝ散開しながら沈村東北方沙南面

高地一帶に據つて防禦を試みんとする敵に向つて攻擊を開始した、兩軍の距離は余等の視る所約五六百米突もあらうか、兩軍とも支隊の主力の附近高地に砲兵陣地を設けて先づ步兵進出の援護射擊の火蓋は東軍によつて切られ八時半頃から兩軍步兵の猛射と共に砲兵の射擊は益々猛烈を加へ來り殆ど三分置き位に殷々轟々として附近の山々に響き渡る凄まじい砲聲山野も裂くばかりである、余等は統監部の旗色鮮かに翻へる西軍の陣地なる鉢卷山の前方

海鼠山を目蒐けて登る、目を東北に放てば余等の立つてる山の附近に散在してゐる兩軍の隊形は殆んど一碑の裡にある、市川統裁官、立花師團長等も此處に在つて兩軍の戰況を觀望しつゝある、東軍の西軍陣地に接近してくるに隨がつて兩軍步兵の射擊はいよ〳〵猛烈となつた九時半を過ぐる頃東軍の攻擊頗ぶる急に全軍の殺氣高潮に達し九時四十分を過ぐる頃東軍の殺到を俟つて西軍の全部隊は『突込め』の命令下や突擊喇叭と共に吶喊の聲一時に起つて激烈なる白兵戰となり、

劍戟將に凄慘なる勢ひ込んだる兩軍の修羅場を現出せんとした時統監部より演習中止の命下り兩軍支隊、支隊長の突擊中止の命令が下つて各隊は一時に鋭を斂めたのであつた、時に九時五十五分、それと同時に兩軍に對し休養の命令が下つた、此の休養中市川少將は兩軍の將校全部を統監部に集合せしめて此の日の戰鬪に關する講評を約一時間に渡つて詳述し立花師團長亦簡單に戰況の講評を試み之れが終つたのは十二時過ぎであつた、十二時四十分頃から、西軍より再び攻擊を開始し東軍之れに應じたが交戰約三十分にして總退却を開始し、西軍は之れを追擊しつゝ沙里院方面に向はんとしてゐる(午後一時半沈村停車場にて)

行在所に於ける露國皇太子殿下ご御學友 (右より二人目參謀章を胸間に著け給ふが殿下)

▲「內地に比べると酷い」

惡道路上騎兵砲兵の苦戰

八日の午前沈村附近に於ける接戰を幸ひに西軍の陣地に驅け上つて見る沈村停車場から東北方へ約十四五丁の高地には

▼**臨時觀測所が**設けられて將校四五名と兵卒六七名が交代で絕へず敵情を見てゐる、支隊の主力には野外電話が架せられて一人の下士が殆んどかゝりきりで或る方面との報告を交換してゐる、慌んなのを見ながら二個中隊位の步兵が高地の斜面を利用して並射擊をしてゐる、山上に立て敵陣地を見てゐる中隊長から『敵は今小松山に隱れた落ちついて擊て――一發もおろそかに彈丸を使ふな――あんな密集部隊を擊つのだから必らず當る――各個射擊を止めて一齊に――』なぞと

▼**間斷なく號令**がかゝる兵はそれを一々聞きながら默々として射擊を續ける、演習とは言ひながら頗る緊張してる事が思はれる、その後ろの方には豫備隊の一個中隊の兵が素破と言へば突進しようと銃を構へて待つてゐる、此の高地を出て統監部のある高地に行くと統監部と可なり離れて立花師團長が山崎參謀大森副官を交々に顧みながら兩軍の散開、進出に就いて批評を試みてゐる、統監部の市川少將も同樣熱心に地圖を擴げて頻りに考へ込んでゐる、處々に掩兵壕を穿つて

▼**瞰射を試みて**ゐるのは一個中隊ばかりの步兵である、支隊長なる野島大佐は此の前方の險しい高地を飛び步いて命令を下してゐるその間に聯隊旗がチラ〳〵と隱現する、突擊戰が終ると立花將軍の所へ出掛けて今度の演習の意見を伺ふと山上の草を薙ぎ倒さんばかりの勢ひで吹きくる烈風の中に立つて諄々と話される、更らに市川少將の所へゆくと副官參謀等と忙がしさうに手帳に何か書きつけながら『演習には、所が路が惡くて困る、砲兵騎兵の行動の思ふ樣に行かぬのもそれがためだね、內地に比べるとまるで酷い』なぞ言はれる

▼**西軍支隊長の**野島大佐は排當を開きながら大隊長等と共に今の戰鬪に就ての話をしてゐる、記者を顧みて『判りましたか、中々判り難いでせう』など言はれる、今後の行動を聞くと『それは解らん、情報が來なくつてはね――然し沙里院方面には今日の內に行く』と言ふ高地一帶を見渡すと休養中の將校が孰れも今の戰鬪に對して議論を鬪はしてゐる(八日午前九時沈村西方高地にて)

◉哈爾賓 秘密の養鷄所

職工は啞ばかり=機密漏洩を防ぐ爲

卵から親まで僅かに一箇月

最近浦鹽及び哈爾賓地方を觀察して歸京せる某有力者の露西亞談を聞く

初めて露西亞に旅した僕等には見るもの聞くもの珍らしからぬ者はなかつた、分けて『アラビヤナイト』に出さうな話と思つたのは哈爾賓郊外に於ける鷄の製造所である、其の工場は一寸市街を半里ばかり離れた野の中にあり開設以來

絕對に縱覽を禁止し內部に於ける機密の漏洩を防いでゐる、聞く所によると其所の技師長は英人で普通鷄卵を孵化し立派な鷄に育つる迄約一年間を要するのを機械や食物や其他の機關の効用で僅々一箇月間に親鷄とし〳〵戰地に送つてると云ふ成程縱覽辭絕ばかりでは內部の絕對秘密は保たれまい、乃で職工事務員の如きは悉く支那人の啞を使つてゐると云ふ事である、一寸嘘のやうな話しだが其の存在は事實である、又僕は其附近の製粉會社も參觀した、日露戰前に於けるハルビンの製粉業は實に盛大を極めたもので

百萬の露軍を養ふパン粉は全部哈市で製造すると云ふ勢ひだつたが干戈收まつて後は急に寂寥となり其の三分の二は閉鎖してゐたらしい、所が今回の歐洲戰爭で其の休止工場の幾部分は軍需品製造の爲め活動を始めてゐるやうだ、僕の行つた製粉工場は殆んど各作業共機械力により職工の如きは事實見出すに苦しむ位の大仕掛けであつた東淸鐵道列車の長くて大きい事と露人の强力な事も亦僕の心を驚ろかした長い座席の一側に軀を置いてそして一人前の身長を有する僕が横臥するに十分の餘裕がある程

露人は長身偉大な譯だ、僕の旅行した時は可なり暑かつた、で僕は窓を開くべく一方ならず力を絞つたが結果は徒勞に終つた、其處に車掌が來たからコヽゾと若干の銀貨を摑ませ手眞似でガラス窓を開けて吳れと賴んだら車掌は何の雜作もなく一擧手にも値ひしないやうの面をして開けて吳れた僕は彼等の底力がどの位强いものであるかを疑がつたが、個人同志の小爭では到底日本人は彼等の敵でないらしい

◉大家の若旦那に化て

八百圓の攫帶者 京城で捕はる

本月二日釜山幸町一丁目履物商堀部芳輔方に山着入り帳場の鬼出しより小切手及び實印を窃取し同日百三十銀行より現金八百三十圓を引出した

◇兄弟とも泥棒

黃海道海州生れ當時鎭南浦碑石里四十一統十戶の吳鎭俊(二六)は去る大正二年二月より四年十月迄三和町田邊金物店に雇はれ中同店より洋傘用ジャキ二個外百餘點價格廿六圓七十五錢の品物を窃取したるが同人の弟吳允俊(二四)も同樣の横著者にて明月旅館に奉公中洋燈、大皿、銅鍋外三十五六點の品物を窃み出したる事を鎭南浦署の刑事が探知し兄弟一時に召捕りたるが贓品は何れも被害者に下戻さる

るものあり其の筋にて嚴探中同家に九月八日より雇はれ居たる廣島生れ松田司郎(二九)が

▲盜難と同時に姿を晦まし

たるより賊は之の者の所爲と目星を付け直ちに同人の行方を搜索したるに同人は京城方面に向ひたる形跡あり釜山署の刑事は四日京城に來り松田の行方を搜索中五日に至り同人が京城旭町九州館に投宿し居たるを探知し直ちに取押へて取調べたるに堀部の實印と現金六百三圓九錢を所持し居たるより有無を云はさず逮捕したり松田は堀部方に雇はれ中去月二十六日夜同人を引立て釜山に歸りた七日百卅銀行に至り主人の預金額を取調べ置き何時か隙もあらば騙取せんと心掛け居たる折柄去る二日

▲家人の留守を

幸ひ小切手と實印を窃取し前記の如く八百三十圓を引出し其足にて直ちに絕浦に趨り同地の料理屋筑前屋にて藝酌婦を揚げ大盡風を吹かして四十餘圓を費消し三日には大邱に趨りて外套、時計、洋服、高貴綾、お召等其の他十數點百七十八圓餘の買物をなし大家の若旦那風に扮して京城に乘り込み九州館に投宿したるものにて頗る巧妙に逃走したるものなりと因に同人は大正三年廣島にて窃盜犯にて懲役六箇月に處せられたる前科者なりと

◉忽滑谷快天師巡錫

朝鮮各地巡錫の爲來鮮せる曹洞宗大學林教授忽滑谷快天師は六日夜入京若草町曹洞宗別院に入りたるが八、九、十の三日間午後二時及び同七時より二回宛別院に於て十一十二兩日は普龍山瑞龍寺に十三、十四兩日は大和町曹溪寺に於て信徒に對し說敎をなし十五日退京元山に趣き夫れより平壤仁川木浦光州釜山の各地を巡錫し十一月一日より三日間本山能登永平寺に於て施行せらるゝ新貫首日置默仙師の晉山式に參列すべし

コレラ彙報

▲**大田に疑似** 七日午前九時黃澗驛に下車せる山岡龜吉を檢疫せしに疑似虎列拉と判明せり(大田特電)

▲**六十五名停留** 虎疫流行指定地擴張せし結果七日午後入港の對馬丸總乘客七十五名の內六十五名を神仙臺に停留收容せり(釜山)

▲**交通遮斷一部解除** 大邱弓町東千代田町及び南町東城町三丁目の一部は七日より交通遮斷を解除し新たに竪町及び横町は遮斷區域となれり(大邱)

▲**列車中に發生** 新潟縣三島郡片貝山田巳之吉(二四)は本月五日釜山に上陸し同地の檢疫を經て七日午前五時二分大田著檢疫の際異常なきを以て直に六時發湖南線にて黃橙驛に向ひしに二回程下痢をなし黃橙驛に下車の際顏色蒼白となり居たるを憲兵は來合はせたる全州慈惠病院長の診察を乞ひたるに疑似虎列剌と判明せり(群山)

▲疑しき初發病狀

▽朝鮮に於ける特種病毒 虎列拉の症狀は多種多樣にして一見判別爲し難きものゝ多し殊に科學の素養淺き朝鮮醫生の如きに至つては初發當時に於ては之れを發見する事難きのみならず或る症狀に至つては內地人醫師と雖も初發の際には容易に氣の付かざるが如き事あり現に仁川の初發患者の如きも始め朝鮮醫生は凡て急性胃炎又は急性胃腸炎等の診斷書を以て死亡屆を差し出し在內地人醫師の初めて發見したる患者の如きも其の臨床症狀は全く赤痢病の症狀なるを以て大便檢査までは全く虎列拉と感付かざりし程なりと猶斯くの如き症狀虎疫は殆ど朝鮮特種のものにて其の病毒は他に比して激烈にして死亡率又甚だ多しと當局者は語れり

職工募集 仕上師 拾五名、機關師 三名、旋盤師 名 募集 希望者は來所あれ試驗の上採用 京城鐵工所

山田醫院 本町二丁目四十五 電話二八八〇番 內科 小兒科 呼吸器病 胃腸病 專門 山田萬作 花柳病 眼科 (入院隨時) 尾形周太郎

京日案內 ▲申込後中途掲載中止の節は料金返戻せず

普通

◎貸家 日本建二階家 間數五間 湯殿水道電燈付三井物產の附近裏通 蓬萊町四丁目中村(電一九九七七)

◎露支語教授 自午後四時至午後十時 南大門通三丁目電話二一九七 487

◎家庭教師又は筆書生として傭はれ度し 經驗 小學校教育六箇年 資格 尋常科正教員(姓名在社) 484

姙婦產婦預所(規則申込次第送呈) ◎京城產婆院 京城南山町二の三五 電話本局二二三九 483

古本なら野村 買入誠實御報參上 明治町筋 電二六二 野村書店 431

◎古本熱心高價買入 ◎是非御試賣を乞ふ 電話二七八一番 △御報參上 △本町四 △書肆群書堂 437

▲古樂器類買受▼ オルガン バイオリン 琵琶等 本町 電二五二七 ヒツツボヤ樂器店 427

◎古本 高價買入 京城本町三丁目 東京堂書店 446

◎店員入用 市內身元保證要す 本町四丁目 食料雜貨九山商店 電話一四九四番 481

◎貸家 日本建溫突付三室五圓半 三坂通官吏向の別莊的 管理者壽龍山印刷局先畑中 296

◎見習看護婦入用 京城本町一丁目 杉本耳鼻咽喉科醫院 474

◎店員入用 廿歲以下三名入用 志望者至急申出べし但保證人を要す 京城吉野町岩城商店 476

番外

日本人女工募集 健康にして夜勤務に差支なき女工募集希望者來談あれ 年齢十五歲以上四十歲以下 青葉町朝鮮製絲會社 486

見習店員採用 高等小學校卒業年齢十八歲迄 市內確實なる保證人要二名 自筆履歷書持參來談あれ 南大門通一丁目 三國商會 485

大和町一丁目(日の出橋下る) 內科 小兒科 爲春堂醫院 (電話九二八番) 院主 古城梅吉 184

京城春川間自働車 京城春川間每日午前八時出發 賃金片道四圓 南大門通一丁目 電話二一九番 廣橋自働車 主務 金正淵 428

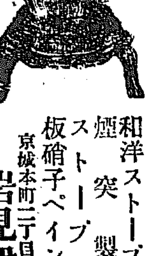
京城春川間 乘合自働車 ◎京城發前九時 ◎春川發前七時半 賃金片道四圓 京城水標橋通り 電話貳壹參八番 京春自働車商會 支配人 松田壽男 429

立替資金 恩給年金受領の方へ 並に公債債券賣買 仁川山手町六門通 仁川共濟社內 會田 453

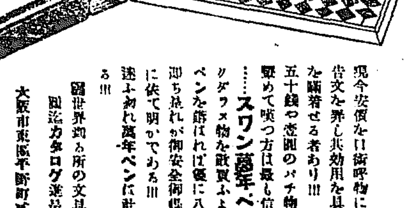
質 よろづや質店 京城太平通一丁目 京城日報社右横 472

恩給年金長期低利即金 ▲地方同業店取扱 特別低利 京城永樂町 商品陳列館前 江州屋本店 471

事務所開設 民刑訴訟事件大小ニ拘ハラス依賴ニ應ス 前判事 辯護士 田中忠見 事務所 公州旭町三百十五番地



和洋ストーブ一式 煙突製造 ストーブ据付 板硝子ペイント塗料 京城本町二丁目(電話[illegible]) 岩見伊勢松商店



十露盤と云ふ計算器有るを知れり哉

現今安價な口術呼物に種々なる名稱を附し誇大なる廣告文を弄し其効用を具備せざる安物を眞率らしく顧客を瞞着せる者あり!!! 五十錢や壹圓のパチ物を三本も四本も求めて後で斯る事を嘆つ方は最も信用ある……スワン萬年ペン……の有るを知らざる人の鼠ソダラヌ物を試買ふより初めから試金圖のスワン萬年ペンを購ばれば優に八九年間の使用に堪ゆるに非ずや御ち然れが御安全御得策なるは十露盤と云ふ計算器に依て明かである!!! 迷ふ勿れ萬年ペンは社會に絕對の信用あるスワンに限る!!!

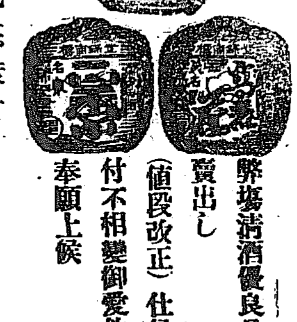
醫世界知る所の文具店に販賣せり定價試圖以上豫試 圖迄カタログ進呈

大阪市東區平野町貳丁目 スワン大阪出張所

米國紐育スタンダードペイント會社製 ラバロイド 最上毛製屋根葺用 朝鮮總代理店 京城本町二丁目(電話長四五番、二七七四番) 釘本藤次郎本店 振替貯金口座京城二五六番

日韓書房 新刊報告
大內青巒著 人生の快樂 定價壹圓三十錢 送料十二錢
笛岡清泉著 禪の手びき 定價六十五錢 送料十錢
前田慧雲著 力の生活 定價八十五錢 送料十錢
中原鄧州著 一喝、禪 定價九十錢 送料十錢
高桑白峰著 後の巖窟王 定價八十錢 送料八錢
京城南大門通二丁目 [illegible]

陸軍御用達



◉冷卸發賣 醉墳清酒優良品 賣出し (値段改正) 仕候に付不相變御愛飲を奉願上候 京城蓬萊町 醸造元 發賣元 三巴酒造場 電話一〇六七番

內科 小兒科 京城日出小學校前 入院隨意 多々見醫院 電話九四〇番

女鳩

渡邊默禪

【一二六】枕の上

住江はそれから暫のお炊部屋に病床をうつすべく餘儀なくされた。小火を出した際に焼け爛れた疊二枚ほどは、家扶の鈴木が取敢へず疊屋を呼んで張替へさせようとしたのを、お父様の歸るまで兩うやつて置いてお目に懸けてからになさい、兎に角證據になる物だからと、そんな事にまで秀子が意地惡を持出した爲に其儘になつてゐた。で、上に床を敷くと燒穴の所だけがぼかりと窪むくらゐで、根太板の隙間から寒い風がすうすう吹揚げて來るのがよく分つた。壁も煤ぶつたまゝなら、窓の小障子も破れた穴を繕ひもせずに打棄つて置いた。

それでも住江は何とも言はなかつた。下女のお竹はその晩から外の女中部屋へ寢た。そして住江が臥込んだゝめに急に臺所の用が殖ゑたのを苦情の種にして、大きな聲でぶうぶう呶鳴り立てゝゐた。三度の食事は粥にしてくれたのはいゝが、煮方がいかにもお粗末で、只湯の中に御飯粒が泳いでゐるやうなものであつた。それに梅干とお鰹節が少しつくとらゐなもので、いつも定り切つたやうな物ばかりを給がつた。持つて來る役はお竹なので、お膳を抛り出すやうにして枕頭に置いて行くのが、まるで猫扱ひであつた。猫といへば住江が自分の子のやうに可愛がつてゐた玉は、曾て住江が臺所に下げられてから以來、みんなに窘められ通しであつた。で、何も臺所の方へ逃げて來ては、小さく體を縮まして住江の膝に乗つてゐた。自分の爲にこんな小動物までが同じ憂身を見るかと思ふと、住江は餘りの慘らしさに涙含ますにはゐられなかつた。その玉も火事騷ぎの翌日から如何なつたのか、頓かに影が見ゐなくなつたので不審りもし心配もし、お竹に訊いて見ると

『おら、猫の番に賴まれて來たではねえだよ。畜生なら足が四本あるだもの、何處ゐでも出かけべゐ。情夫と一緒に駈落でもしくさつて、電車に轢かれて心中でもやらかしたんたべゐよ。そんなに心配なら搜索願でも出すだね』

と憾うであつた。と、三日程經つてからお針のお秋が部屋に入つて來て玉の死骸らしいのが邸前の御濠の淵に投込んであつたことを知らせてくれた。住江は目を据ゑたなりに少欠泣となつてゐた。そしてお秋の出て去つた跡で、枕に摑みつきながら泣き續けた。考へるまでもなく無論お孝か誰かゞ毒でも飲まして斃死させたのを、無慘に濠へ棄てたものだらうと思つた。で、翌日そつとお秋に賴んで、出入の車宿にいくらかの金を遣つて、玉の死體を收めた上に寺へ葬つてくれるやうに取計はせた。小さな出來事ではあるけれど、彼女にとつては惱の中の一大悲哀であつた。俳し可憐な小動物の犧牲の死がどのくらゐ彼女の意志を鼓舞したか知れなかつた。

お秋は双方の爭ひにかゝはりのない新参者だけに、住江に同情して手隙ひごとにちよいちよい見舞に來てくれた。そしていろいろと慰めてくれた。それが住江に又となく嬉しかつた。或時、人氣のない折を見てお秋に一切のことを打明けた。悲慘な今の境遇を語る時に、憔れた頰にほろほろと淚の落ちたのを見て、お秋も貰ひ泣きの淚を呑んだ。それがお秋の同情を一層此方へ引つける動機になつて、自分が知ることの能きぬ奧向の樣子を、彼の口から內々聞き得られるやうになつた。その話によると輝子はもう公然に訪ねて來るまでに增長し秀子の方からも一二度その家へ逢ひに行つたやうな形跡があつた。午前のうちに出かけて、夜遲く歸つて來たこともあつたとやら。敵の計畫はだんだん熟して來るやうに想像された。

京城旭町一丁目四番地 外科 花柳病 皮膚科 內科 耳鼻科 咽喉科 (旭町上る左へ入る) 島崎病院 電話二七三六番 診察夜九時迄 院長從六位勲四等 島崎龍一 手術室新設、隔離室、普通室病設備 入院隨意

銀牌受領 栗饅頭は 名產平壤栗を以て製撰したれば風味佳良 茶菓用又は內地土產として最好適品なり 本町二丁目 電話二九三〇 千利堂

歸へるぬしより木村屋パンの京城みやげが待ちかねる (京城明治町 電話一〇七〇) 市內に一名のパン屋あるも當店と何等關係なし

俳諧散心(第八回)

庭燎に宮杉動く夜寒哉 田打夫
枯黍の背丈を風や秋山家 同
礪拾ふ秋風の驛に汽車待てば 同
野菊咲く大樹に倚りて壞れ塀 同
冷かに灯せば壁に蟲這へる 同
葬人灯に動き居り冷かに 同
冷かや古墳の壁畫灯し見る たかし
喪服人の鏡さげ行くや秋燕 同
柳散るや水渴きて休む搗礦機 同
野良仕事終ゑて馬洗ふ冷かに 久子
冷かや釣瓶下げある懸り船 盧中子
冷かに光る手斧や袖が土間 同
穀倉の壁繕ふや柿の秋 同
農園を圍む鐵條や秋の草 同
狂人を追ふ諸聲や路次の月 同

大田湖南吟社句集

鞍摺れを馬の痒ゆがる芒哉 桐翠
風は芒に千里の夢語らする いかり
芒野に月明りの虚々し 待宵
芒原眼に入る果や湖につゝく 同
微雨する月夜を風の薄哉 桃月
芒原背伸ひして開く馬の鈴 狸雨
馬進ます芒搔きに氣を置けり 中京
薄堤の風音淋し一軒家 紅星
小雨する夜燐火消ゆく芒原 淡水
髑髏に夕月照れり薄原 同
汽車徐行煙にゆるゝ花芒 松年
砂に埋もる崩れ蛇籠や土手芒 同
山の尾の草家の庭や花芒 千里
野路行くに誰を呼ぶらし芒亂る 同
炭小屋に俵編む夜を芒鳴る 中京
渡し呼ぶ薄より聽す船頭哉 雅溪
芒刈れは柿晒れし道の果 逸鹿
方位占ふて高見の墓地や花芒 風骨

新刊紹介

▲世の中(當世商人號)二十五錢東京麴町區有樂町一ノ四實業之世界社
▲女の世界(十月號)二十三錢前同發行
▲公私經濟(十月號)附錄「二百會社の內容と株式市價」金廿五錢東京麴町區內幸町某社
▲世界公論(十月號)十五錢東京小石川大塚窪町二十四某社
▲鑛業及鑛夫(二十七號)三十錢東京府豐多摩郡千駄ケ谷七四三某社
▲保險新聞(十五號)九錢東京神田區北神保町八番某社
▲文章倶樂部(六號)十錢東京牛込矢來町中の丸新潮社
▲英語の日本(十月號)東京神田表神保町建文館
▲帝國青年(青年團革新號)東京麴町內幸町一ノ四中央報德會
▲角力世界(五十二號)十五錢東京京橋區築地二ノ二十五角力同好會
▲ジャパンタイムス、ステューデント エディション(十月一日號)十二錢東京日比谷公園前ジャパンタイムス學生號出版所
▲東京魁新聞(五週年第一記念號)十錢東京麴町區有樂町一ノ三某社
▲敎育の實際(第十二號)二十五錢東京日本橋區本石町寶文館
▲今樣(十月號)東京神田區鍛冶屋町松屋吳服店
▲食物の養生(十月號)十三錢東京牛込市ケ谷五一石塚食療所
▲海友(七十八號)十五錢大連市寺內通二大連海務協會
▲實業帝國(十月號)十一錢東京日本橋區本町一の一四某社
▲文藝雜誌(十月號)二十二錢東京小石川原町一三日本文藝協會
▲佛書研究(廿三號)五錢東京小石川區林町二〇某會
▲都會及び農村(十月號)十五錢東京麴町區平河町五の三六洛陽社
▲良民(九月號)五錢東京麴町區平河町五の三六某社
▲月刊樂譜(十月號)八錢東京々橋區銀座四の四山葉樂器店
▲大陸婦人界(十月號)牧山社長の「殖民地に於ける女子教育」を卷頭に鎌田塾長の「戰後婦人問題」及び太田觀學官の「結婚は何の爲めにす可きや」等の現代婦人の緊要問題なり「若き婦人の注意すべき問題」と題して渡邊法院長外在京三名士の所說を掲げたり其他持地局長夫人の「追り來る驚きと恐れ」「女敎師」「十月の獻立表」「家庭に神棚が備へたい」其他趣味と實益とを兼ねたる記事を滿載せり(二十錢京城大平町一某社)
▲滿蒙農報(創刊號)日鮮の提携以來滿蒙の天地は我國人の開拓を俟たざる可からざる運命の下に置かれたり開拓は農より始めざる可からず其必要が生めるものゝ本誌とす自ら其先覺者を以て任ぜり滿蒙農民者必讀の書(一部十五錢奉天小西邊門外圖帝廟東入る某社)
▲實業之世界(十月一日號)論說には「政權と金力」三宅博士の「大東京論」安部早大教授等「如何にして商品を仕入れるか」「東京築港」「南洋貿易有望品」等は經濟記事として見る可し(十三錢東京麴町有樂町一の四某社)
▲滿斷(第六十號)文邑、北海、林谷、雲渓、燕村等諸家鑑の各隊寫眞版數十葉あり記事には蕪家小傳、文邦獨書史等(一部十八錢東京淺草區今戶町滿斷社)
▲實業之日本の活躍 再版又再版を重ね異數の大增刷を行ひつゝある「實業之日本」は十月一日號に入りて其記事に更に一段の活躍を示し增田社長の北海道論は忘られたる北海道の遺利を絕叫して國民の注意を喚起すること莫大なり次に有利なる投資法として「株か土地か」の問題は安田善次郎氏、廣部伊行頭取、藤田總務會社事務等の答解ある者の爲めに適切なる指針なり其他浮田、新渡戶兩博士の時弊に對する堂々の論陣は一讀すべく「長倒れ豫防法」「農家の副業」として桐の木の栽培等目下必要の題目にて全誌頗る有益の文字に富めり

●哈爾賓の豆界

……の群小も亦進むものなく支那側にても雙合盛、成太義等の豆商が僅かに……塲は買方手硬く昨年は畑買ひにて五十哥見當なりしも本年は布度七十……北滿大豆其ものが低落するに非らざれば難く歐洲行きコーペンハーゲン……際なるも船腹は依然として足らず之が爲に其不便たるは昨年に劣らざ……なる形勢にある事、二は昨年手附金支拂ひの方法にて契約したるにも拘……寺、三井等の行動は此際特別注目せらると(哈爾賓)

●日本品の輸歐

なくされし結果にして昨今滿鐵より輸入の米國品歐露より輸入の瑞西品……に向つて我資本家の投資開拓に努力するものなくば片貿易となりて日路……

胃腸最新藥 ゲチスチン
日本獸米十三ケ國專賣特許
胃腸疾患、食慾不進重病後の恢復期、營養補給の目的にて肺の疾患小兒の營養不良等に賞用せらる
常用すれば血液を增し精力を盛んにす
◎說明書進呈 東京本町 藤稲岡藥 合資會社 圓城商店

たむし 水虫 錢癬 治癒良劑
田虫 いんきん 皮膚病も快治す
本劑は褐色の水劑なれば衣類へ色附かず
一個十二錢 廿錢 特製五十錢 一圓 送料四錢
本舗 名古屋市廣小路通 小林盛大堂 大阪 平野町小林大藥房 東京 藤井龍角堂 全國藥店若無ば着金直送郵券不苦

わきが 治療 好期 全快 實驗
新刊療法解說書全部實驗集無代呈す

脫腸矯正器
御入用の方は腹廻り寸法並に左右の別御しらせ被下度候
京城本町一丁目五一 高野義手足製作所

油斷大敵!
かぜは萬病の基で決して油斷は出來ないのである、之を打捨て置けば往々チブスや肺炎に變症して後悔する事となる故にかぜは勿論熱病に罹られたる諸君は速かにハカリ印のヘブリン丸を服用して熱を解き全快せらるべし。
ハカリ印
大阪田口のヘブリン丸を ハカリ印のヘブリン丸と改稱

最高滋養
病床にフェロール
病後にフェロール
虛弱にフェロール
活動にフェロール
フェロールの滋養
フェロールの美味
フェロールの光榮
◎最良の營養となり醫藥の効を大にす
◎體に力を附け老衰疲勞衰弱を恢復す
◎血を增し氣力を增して健康ならしむ
◎著しく精力を强め活動の能力を增す
◎最近醫學上人體必須の成分より成る
◎病者小供お婦人達に適し 藥の氣味なき佳品なり
◎高貴方の御用を蒙る
病者方は醫藥と併用あるも差支へなし
大瓶廿日分 壹圓七拾錢 小瓶十日分 壹圓也 試用二日分 貳拾錢
美味と滋養の新發見フェロールの特長
賣捌各藥店 賣捌なき地方は本舖へ注文あれ小包便出荷す (說明書申込次第進呈)
創業元 大阪道修町 小西久兵衛

瓢水味淋 堺 鳥鳶釀
專賣店 京城本町二丁目 前田酒店

日本郵船仁川出帆
○大連、太沽、牛莊行
相模丸 十月九日 前八時出帆
高砂丸 十月十九日 正午出帆
三河丸 十月三十日 正午出帆
仁川海岸町一丁目 電話十一番 堀回漕部

尼崎汽船仁川出帆
○群山、木浦、釜山、下關、神阪行
君が代丸 月 日後四時大阪直行
○大有丸 十月七日後四時出帆
○神代丸 十月十三日後四時出帆
○秀吉丸 十月十八日後四時出帆
仁川海岸通一丁目 電話五十九番 高杉回漕部

汽船釜山出帆廣告
門司、神戶、大阪行 月 日後五時出帆
○立神丸 元山、淸津、浦鹽行 月 日後十時出帆
○山城丸 元山、城津、浦鹽行 月 日後十時出帆
○小倉丸 西湖、新浦、城津、淸津行 月 日後六時出帆
○第三琴平丸 元山、新浦、城津、淸津行 月 日後六時出帆
○第三琴平丸 門司、宇品、神戶、大阪行 月 日後六時出帆
○天與丸 佐須奈、嚴原、壹岐、博多行 每月二日、十四日、廿一日、廿六日 午後十時出帆
釜山港埋立新町 本船取扱店 大池回漕部

阿波共同汽船仁川出帆
○芝罘、大連行 第十一共同丸 十月八日正午出帆 十月十日後四時入港
朝鮮鐵道主要驛にて荷客連絡取扱大連にては青島行定期船接續荷客共直通輸送取扱可仕候
阿波共同汽船株式會社
仁川代理店 本町四丁目(電話一七三番) 野口商會
元山代理店 春日町(電話二四四七番) 田口回漕部
京城取次店 南大門 電話二六八、二〇七 河村運送店

朝鮮郵船出帆
鐵道會社及朝外船と荷客連絡の便あり詳細は京城府大門驛前京城荷客取扱店 松原運送店(電話一七〇番)
○全羅丸 十月九日 ○京畿丸 十月十八日 ○黃海丸 十月廿日 ○咸鏡丸 十月十三日 釜山發(門司より釜山各港寄港群山間航路)
○穩城丸 十月十日 ○昌平丸 十月八日 ○鏡城丸 十月十四日 元山發(元山より各港經由雄基行)
○忠清丸 十月二十日 ○平壤丸 十月十二日 元山發(城津淸津雄基經由浦鹽行復航釜山より門司又は長崎行)
○永興丸 每月廿八回 元山發(北久味、五里浦行)
○盈德丸 十月 日 釜山發(甘浦、九龍浦、浦項各港寄港鬱陵島行)
○江陵丸 ○襄陽丸 每日 釜山發 浦項發(長生浦方魚津寄港)
○三浦丸 十月 日 釜山發(長承浦、麗水、巨文島、濟州島各寄港)
○海州丸 ○純盛丸 ○慶寶丸 ○巨濟丸 每日 釜山發
○順天丸 三日目每に 木浦發(各港經由麗水より釜山行往復)
○慶興丸 十月 日 木浦發(各港經由濟州島行西廻)
○慶興丸 十月十二日 木浦發(南多島海列島行月三回)
○公州丸 十月 日 木浦發(各港經由濟州島行東廻)
○宗信丸 十月十日 仁川發(海州他各港經由鎭南浦又は白翎島行)
○江原丸 十月 日 仁川發(市島大連芝罘行)
○麗水丸 ○晉州丸 十月十二日 仁川發(各港經由木浦行)
○南陽丸 ○全州丸 每日午前 仁川發(江華島、喬桐島、海州行)

大阪商船仁川出帆
外航路所屬航路並泊航路を除く、問題航路の時は五分引を以て連絡切符發賣仕候
○群山、木浦、釜山、關門、神阪行 ○天智丸 十月二十日 ×安東丸 十月十四日 ×漳州丸 十月廿四日 後五時出
○木浦、釜山、嚴原、鄕の浦、長崎行 ○信濃川丸 十月二十日 ×信濃川丸 十一月七日 後二時出
○群山、釜山、横濱行 ○福州丸 十一月三日 △潮州丸 十一月廿一日 後二時出
○木浦、關門、神戶、大阪行 ×漳州丸 十一月十三日 後二時出
○釜山、横濱行 △福州丸 十月九日 正午出帆
○鎭南浦、大連行 ×信濃川丸 十一月十五日 ×信濃川丸 十一月二日 後二時出
○大連直行 △福州丸 十月廿八日 △潮州丸 十一月十七日 正午出帆
○鎭南浦、龍岩浦、安東縣行 ×蘇慶丸 十月十六日 正午出帆
○淸津、浦潮行(元山出帆) 印城津西湖津ニ寄港浦潮不寄港
▲安平丸 十月廿六日 ▲宮島丸 十月十二日 後二時出
○上海、基隆、打狗行(大連出帆) ○基隆丸 十月廿七日 後四時出 ○湖北丸 十月十六日 前六時出
御注意 ●朝鮮鐵道及び南滿洲鐵道と連絡切符發賣仕候 ●御乘船は本船出帆前約一時間前に貨物の御積込は一日前迄に御差出相成度し
切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話二番二〇五五〇番 內國通運會社支店
京城切符發賣所 [illegible] 電話七〇八番
●中國四國港汽船各港への連絡切符發賣仕候